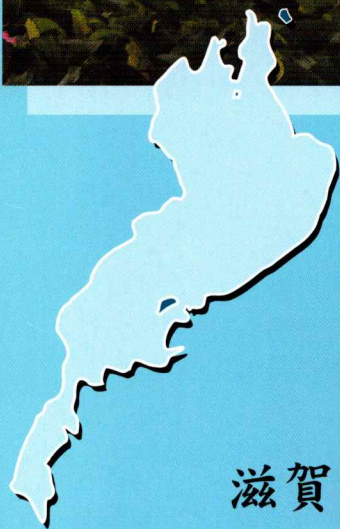


會 報

第 26 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

滋賀県レイカディア大学校歌



レイカディア讃歌

(高城修三 作詞)

- 一、近江の最中 青き湖
ささなみ寄せる軽き音
いつまでも尽きることなき
その思い ともに学ばん
さわやかに レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 二、青垣つらね 鈴鹿比良
峰にたわむる白鳥の
いつまでも果つることなき
歓びを ともに遊ばん
うるわしく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 三、淡海映す蒼き空
宇宙が見せる深き貌
いつまでも消ゆることなき
その真実 ともに生きなん
かぎりなく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために、励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

同窓会活動の活性化の努力目標

1. 地域ボランティア活動および魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。
2. 支部間の交流をより一層活発に行う。
3. 組織のより一層の活性化をはかる。
4. 学校との連携および交流の強化をはかる。
5. レイカディア大学卒業生としての誇りと自覚を持って行動する。

目 次

同窓会長所感	
滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村常治郎	2
『會報』第26号発刊によせて	
滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚	3
平成21年度 同窓会本部のあゆみ	4
① 事業計画概要 等	5
② 必修講座の聴講 ③ 地域活動事例発表会 ④ 支部交流G・G大会	6
功労者表彰・受賞の喜び	9
長寿慶祝受賞者「わが人生一忘れ得ぬ思い出」	15
平成21年度 各支部の活動	26
平成21年度 各支部の活動 そのⅡ	35
《特集》支部の一押し	36
みんなの広場	53
平成21年度 新入会員の紹介	55
平成21年度 本部役員の紹介	57
物故者を悼む	58
休校について要請	59
編集後記	63

動き出したサムシングニュー



滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村 常治郎

1,900名の会員のみなさんこんにちは、お健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は同窓会へのご支援ご協力をいただき感謝しております。

さて、顧みれば平成16年度の総会で会長に推挙されて早や6年目に入り、その折り、25周年には「2千名の会員で迎えよう」を目標に掲げました。あと25名で達成というところまで来た時期もありましたが残念ながら今日にいたりました。

目標は決して高いハードルとは思っていません。「ハードルは障害物。されど時には階段と思え」と云った人がいました。一気に飛び越えようとせず階段を上がるがごとく一歩ずつ気長に、とエールをくれたのでしょが、同窓会活動の原動力は会員からの会費なくしては成り立たないことは周知のとおりです。その支えである会員の拡大を図ることこそ舵取り役の責務と執行部一同ベクトルを合わせて取り組んできました。

停滞は後退、後退は衰退への水先案内

そのため変化への対応が遅れることは「停滞」を意味し、それを見逃すことは「後退」に等しく、後退は「衰退」への水先案内につながるのです。つまりマンネリ化打破の喚起の一環として昨年「サムシングニュー」を提唱してきました。

その一つは、新しい後継者こそ「サムシングニュー」の究極です。そのため卒業生の全員入会を目指し、早い時期から同窓会の活動を知ってもらおうと「会報」「本部総会の議案書」「支部機関誌」などを配布してきました。各支部も独自活動を行うなかで、湖北支部は米原校に同窓会用の掲示板を設置していただき、おかげで米原校関係の各支部は従来にも増した活発な活動を展開しています。

その2は、会員さんの日常活動の情報交換をもっと活発にしようと「地域活動事例発表会」を開催しました。この発表の場を設けることは本人さん自身の励みになると共に今後の地域活動の参考にもつながるものです。

「今までやってきたこと」を下敷きに

9月15日の米原校での上記発表会では中部支部の大西豊己さんと木瀬昭子さんが、地域の観光ボランティア活動について発表しましたが、二人の掛け合いは、ユニークなスタイルが会場を盛り上げ大変楽しく好評でした。

特に目新しいものでなくとも少し変えたやり方が、新鮮さや興味を引くのです。

「サムシングニュー」の推進にあたっては、時には新しさを出すことも必要ですが、まずは実践・実行です。構えの姿勢ではなく「一寸やってみよう」の軽い気持ちが大事です。みなさんはこの変化と一寸した新鮮さに感動を覚え魅せられて参加をそえられるのです。

活動に際しては「今までのことを下敷き」にして「見方、やり方」を一寸変えて挑戦してみましょう。

より実学、実践的な大学に



滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚

滋賀県レイカディア大学同窓会會報26号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国では平成27年には、「団塊の世代」が65歳以上の高齢者になることとなり、世界のどの国も経験したことのないハイスピードで超高齢社会の道を邁進しています。

併せて、少子化の進行と人口減少社会への移行により、全人口に占める高齢者の割合が高くなる中、地域で力を発揮し、まちを支える重要な担い手として、高齢者は今まで以上に大きな役割を期待されているところです。

そうした中で、レイカディア大学は昭和53年の設立以来、高齢者自らが時代にふさわしい積極的な生き方を創り出し、地域の担い手として登場できる人材を輩出する大学として、すでに4,400名を超える多くの方々が卒業され、それぞれの地域で元気に活躍していただいております、私ども大学を運営する者としてたいへんうれしく感じているところであります。

また、昨年度より同窓会活動に新風を吹き込み、活性化を図ることを目的に、地域で活発に活動しておられる方やグループを、発表会や会報誌で積極的に紹介されるなど、新たな取り組みにもチャレンジされておられることに敬意を表するところです。

このように、同窓会が「サムシングニュー・何かを変える」の気持ちで取り組んでおられるのと同様、レイカディア大学においても、さらに時代の要請に応じ、より実学、実践的な大学づくりを推進すべく、たゆまぬ改革を進める所存であります。

その一つとして、第32期より、従来の「スポーツ・レクリエーション学科」を見直し、「健康・レクリエーション学科」として再スタートしました。

この「健康・レクリエーション学科」は、健康に対する関心が非常に高い中、卒業後、元気で活動的な地域づくりに向けての具体的な活動につながる、より実践的なカリキュラムとして実施するものです。

今回の見直しは、今後さらに、地域の担い手をより多く育む大学として内容を充実させるために行ったものです。時代の変化やニーズに向き合って歩むレイカディア大学のあり方についてご理解いただき、今後も、レイカディア大学の運営のためにご支援ご協力を賜れば幸いです。

最後になりましたが、同窓会運営にご尽力いただいております関係者の皆さんに敬意を表しますとともに、同窓会の今後のますますの発展と、会員の皆さんがさらにお元気で活躍されますことを祈念いたしまして、発刊に寄せての挨拶といたします。

平成21年度 同窓会本部のあゆみ

1 平成21年度 本部定期総会

平成21年度本部定期総会は去る5月16日（土）近江八幡支部の担当で近江八幡市文化会館小ホールで開催しました。来賓には福田レイカディア振興部長並びに富士谷近江八幡市長を迎え、当日はあいにくの雨にも拘わらず9支部の会員221名の出席を得て盛大に開催されました。恒例の功労者表彰9名長寿慶祝28名の方が受賞されました。

議事進行に移り提案事項は滞りなく可決、承認され盛会裡に終了。第2部はK&Mグループによる大正琴とエレキの迫力あるステージを楽しみ、歌の喫茶時間では全員の合唱で盛り上がりアンコールの声も飛ぶなか閉幕としました。



◀奥村会長のあいさつ



▲来賓挨拶 福田レイカディア大学振興部長(左) 富士谷近江八幡市長(右)



▲功労者表彰

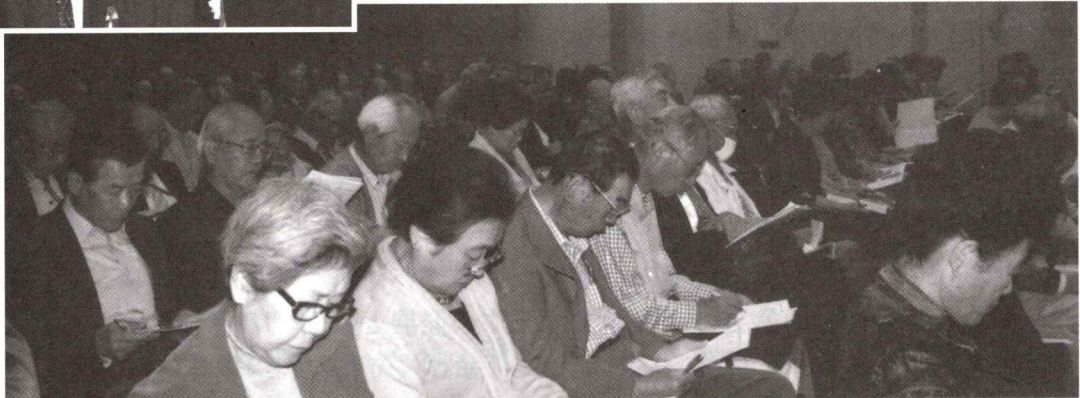


◀長寿者慶祝



▲大正琴の生演奏

▼議案審議



1-① 平成21年度 事業計画概要

月 日	事 業 の 概 要
5月8日	草津校における講座聴講と同窓会入会説明会
5月16日	本部定期総会 於：近江八幡文化会館
6月25日	米原校における講座聴講と同窓会入会説明会
9月15日	前期「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学 米原校
10月15日	支部交流グラウンドゴルフ大会 於：甲良町総合運動公園
12月15日	『會報』第26号発行
2月	後期「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学 草津校

1-② 平成21年度 予 算

1. 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	476,819	
会 費 収 入	1,365,000	700円×1,950人
合 計	1,841,819	

2. 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳
会 議 費	300,000	総会費 250,000 その他会議費 50,000
旅 費	230,000	各種会議出席者交通費
事 務 費	70,000	事務消耗品費 30,000 通信費・雑費 40,000
慶 弔 費	350,000	褒賞費、弔慰費
事 業 費	650,000	総務部費 150,000 研修部費 100,000 広報部費 400,000
予 備 費	241,819	
合 計	1,841,819	

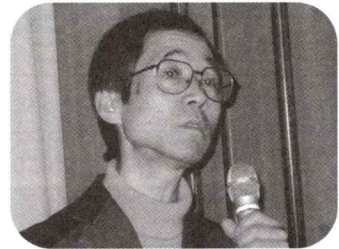
3. 特別会計基金 402,163円+当期利息

2 レイカディア大学 必修講座の聴講

レイカディア大学卒業生が地域の大きな“担い手”として、地域活動の活性化を計るため卒業生を対象に行われました。

◎草津校（5月8日）

- テーマ「ご近所パワーで助け合い起こし」
- 講師 住民流福祉総合研究所
所長 木原 孝久氏



◎米原校（6月25日）

- テーマ「里山の現状と将来」
- 講師 滋賀県立大学環境科学部
講師 野間 直彦氏



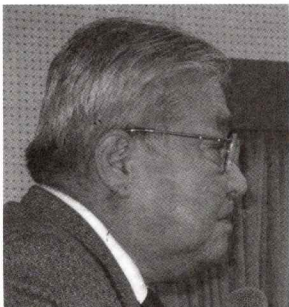
3 第1回（後期） 地域活動事例発表会

平成21年2月28日 於：草津校 参加者130名



「日本伝統文化を子供たちに伝える」

鈴木 勲さん（甲賀支部・21期・スポレク学科）
'07年には“鈴鹿馬子唄全国大会”で優勝する実力。
その傍ら伝統文化を子供に教えたり、施設での大道芸や紙芝居を行うなど多岐にわたる発表。

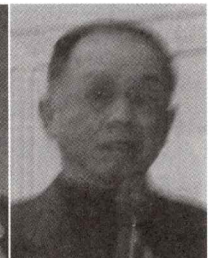


「グリーンスターズ26の活動」

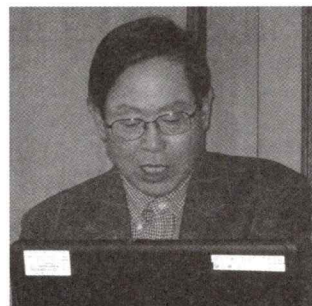
加藤 英昭さん（守山・野洲支部・28期・園芸学科）
近江富士花緑公園や芦浦観音寺の樹木管理、
ならびに育成の3年間におけるボランティア活動のあゆみを発表。

「大津地区のボランティア活動」

山田 隆造さん（大津支部・28期・園芸学科）
梅影 宏さん（大津支部・21期・生活学科）
大津祭、小学生見守り、湖岸の草刈り、
清掃活動などへの参加、更にレイ大生
と共同で里山保全作業など多岐にわたる活動について発表。



（左）山田さん（右）梅影さん



「老人会“太田豊齢会”との連携」
進士 良治さん（高島支部・20期・文芸学科）
月1回の老人つどいの場で、童謡、カ
ルタ取り、迷路挑戦、謎々ゲーム、風
船割り、などいろいろな遊びを通じて、自
分も共々楽しく、仲良く過ごしている。



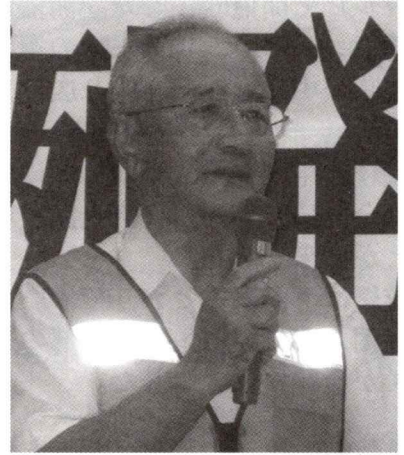
「ボランティア活動の広がり」

中後 佐知子さん（草津・栗東支部・
26期・文芸学科）
観光ボランティア活動に参加し、
また、レイ大に学んだことを活かして、
活動の場も内容にも広がりができた。

3 第2回（前期）地域活動事例発表会

平成21年9月15日 於：米原校 参加者114名

「ふたば会レイカ28のボランティア地域活動」
北河 博さん（湖東支部・28期・スポレク学科）
ふたば会の生い立ち、ネーミングの説明とボランティア地域活動状況。具体的な地域密着に基づく事例を並べての体験談を解りやすく発表。



「みんなが主役の地域活動をめざして」
森川 栄寿さん（湖北支部・23期・文芸学科）
在校時、地域社会人への参加に苦慮していたが、5年前発足の市民参加による里山活動に居場所を見つけつつある。



「私とボランティア“地域活動にかかわって”」
澤田 ゆり子さん
（近江八幡支部・24期・スポレク学科）
健康推進員の運動部長として、高齢者の体操教室、子育てサポートリーダー、レクリエーションインストラクターとしての活動、毎日が多忙で自分の時間が無い場合も多いが充実している。



「日野観光ボランティア活動」
大西 豊巳さん
（中部支部・25期・園芸学科）
木瀬 昭子さん
（中部支部・27期・文芸学科）
2人の問答形式で日野町観光ボランティアガイド協会の活動を発表。
“かけあい漫才”話法で理解し易く説明。

4 第11回 支部交流グラウンドゴルフ大会

秋の風もさわやかな、快晴の10月15日（木）甲良町運動公園グラウンドゴルフ場（24ホール）で開催しました。開催地湖東支部の皆さんによる事前のコース整備を終えた快適なコースで、10チームの選手が親睦の中にも熱戦を繰り広げました。

特に今年は、昼食時間を設け熱戦の合間に支部間の交流を深めることが出来ました。

成績は下記表のとおりです。団体、個人共、守山・野洲支部の皆さんが優勝に輝きました。



1チーム7名、10組（湖北は2チーム出場）の総勢70名の選手を前に挨拶する奥村会長。

【団体戦順位】

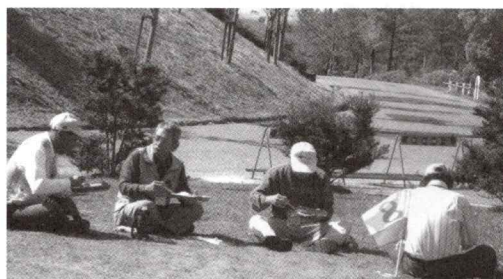
順位	支部	合計総打数
優勝	守山・野洲支部	486
準優勝	近江八幡支部	532
三位	草津・栗東支部	532
敢闘賞	大津支部	534
々	湖東支部	537
々	湖北支部（B）	545
々	中部支部	552
々	甲賀支部	572
々	湖北支部（A）	583
々	高島支部	(504)

注)
①準優勝の順位は、夫々の支部代表者のジャンケンにより決定
②高島支部は選手数の不足（1名）により、打数表示は参考記録

【個人戦順位】

順位	支部名	氏名	総打数
一位	守山・野洲支部	角松二郎	64
二位	々	河村利逸	66
三位	々	鈴木昇治	67
四位	湖北支部（B）	清水秀和	69
々	湖東支部	北川慶子	69

注)四位～五位は、同点打数の該当者4人によるジャンケンによって決定



昼休みは絶好の交流の場、広々とした運動公園のあちこちでは、弁当を食べながらの談笑の輪。



ホールは峠を越えた向こう側。強打しないと峠は越えず、強いとガケ下への難コース。

功労者表彰・受賞の喜び

本年度定期総会における功労者表彰は、各支部から選ばれた1名ずつ、計9名の方が受賞の栄に浴されました。日ごろのご活躍の様子、今後の抱負などご寄稿ねがいました。



大津

卒業時を思い起こして

第21期 生活科学学科 井上 榮

今回計らずも功労者本部表彰を受賞致しました。大津支部長始め役員御一同様のご尽力に依るものと承っております。誠に有難うございました。卒業してからの活動実績はあまりありませんので、平成12年9月卒業時に戴きました「滋賀県レイカディア大学21期草津校卒業生」の紀要を改めて読ませて戴きましたが皆さんそれぞれ実に立派な内容のある文章を書かれているのにびっくり致しました。私のものは入学時から卒業までの「必修講座の15回の要約を纏めていました。特

記すべきものとしては、6名の講師先生と生活科学学科24名のご氏名と和歌イメージを色紙に書き入れて署名捺印をして皆様にお配りしたものがありません。十年振りに思い出して懐かしく感入（ひとしお）であります。高齢社会をどのように生きるか自分自身が老いを楽しく光り輝きときめき続ける為に、既に後期高齢者の域に達しましたが卒業当時の心構えを思い起こしてもうひと踏ん張りとして改めて決心した次第です。



草津・栗東

功労賞を受賞して

第18期 スポレク学科 西田太治郎

この度、はからずも功労賞を受賞し、身に余る光栄と恐縮しております。これも一重に会員皆様のご支援ご協力

の賜と厚くお礼申し上げます。

顧みますと平成9年に卒業し、翌年の平成10年より平成20年3月までの10年間

に亘り、支部本部の役員の一部を担わせていただき、微力ながら会の運営に参画でき、益者三友に恵まれたことは、生涯忘れられません。「光陰矢のごとし」いつの間にか早80歳になりました。

耳が少し遠くなりましたが、至って健康で今日までの無病息災に感謝して、残る掛け替えの無い人生を、有意義に健康で何事にも好奇心を持って、一日一日を大事に過ごしたいと思っています。

私事で恐縮ですが、妻の足腰が弱く家事の大半を任され計画・合理的に家事を済ませ、新聞の隅々まで目を通し、運動と実益とを兼ねて庭の一角で野菜・花づくりに精を出し、夜は興味のあるTV、

読書と時間の経つのを忘れる日々です。

その中で毎週2回程地域の同好者とグラウンド・ゴルフ等を楽しみ、月に1～2回程は地域活動や各組織・団体の会などの会合に、迷惑をかけないように選択参加し、歴史クラブ等の遺跡社寺見聞などに時々出かけています。ゴルフの方は年に数回コースで気の置けない連中と100を切るのに懸命です。

晴耕雨読と言いたいのですが、毎日元気に多事無閑の生活を満喫しております。

最後になりましたが、同窓会の益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



守山・野洲

「功労者表彰」を受賞して

第17期 園芸学科 岩井 典弘

平成10年度の支部総会に始めて出席し、理事に選任されました。当時の支部活動は低調で、どうして活性化を図るかが課題でした。早速理事会を開催「何か会員の関心がある事業を行い、会員に行事に参加願って活性化する」のが会議の結論でした。

- 1、先ず事業計画としては、作品展に始まりグラウンドゴルフ交流会、研修旅行、総会の前に当初は講演会、以後はバス送迎による名所・旧跡の見学会に変更しました。
- 2、次に地域別、班別の会員組織を確立

し各会員への情報伝達の徹底を図りました。

- 3、そして事業と追加のグループ別活動は役員担当別の推進によって実施しました。

以上支部活動の充実と拡大に努め、理事活躍で所期目標の達成が出来ました。

今回の受賞は先輩の指導、理事各位の協力と会員皆様の支援の賜物と感謝します。

終わりにになりましたが、同窓会の発展と皆様様の御健勝と御多幸を祈念致します。

甲賀



母から貰った言葉

第17期 文芸学科 城 宏衛

この度は、望外の受賞に浴し身に余る光栄で喜び一杯であります。私を育て、ご支援下さいました関係の方々に深く感謝し、心から厚くお礼申し上げます。

顧みるに、40有余年の会社生活を定年退職し、レイカディア大学に入学、卒業、そして社会に羽ばたいて行きました。多くの交友を得て、レイカディア大学同窓会の甲賀支部長を2期、また、本部の役職にもその職責を全うする事が出来ました。これ偏に先輩諸兄弟姉のご指導ご支援の賜物であり、深く感謝している次第であります。

平成8年、レイカディア大学卒業に際

し、母より「物事を行う時には先ず南無阿弥陀仏を称えてから実行に移せ」と言われました。その後地域では、各種ボランティア活動に貢献し、又、地球温暖化防止活動や、その他の活動推進にも努力している現今であります。私が常に心に刻んでいる言葉は、「頭脳を柔らかくして、姿勢を正しく持ち、南無阿弥陀仏を称える」と言う三諦であります。

最後になりましたが、レイカディア大学同窓会の益々の発展と、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りし、地球の安寧を祈願いたします。

近江八幡



功労賞を受賞して

第21期 園芸学科 岩崎 一雄

平成20年度本部総会に於いて、功労者表彰を頂き、誠に身に余る光栄に浴し、心から感謝いたしております。サラリーマン時代は大阪までの通勤の為、地元の方との交流が少なくレイカディア大学草津校に入学、園芸学科を通じ皆様との交流が広がり良き友人にも恵まれ、在学中には四国旅行、歌舞伎鑑賞、希

望ヶ丘庭園の剪定、友人宅の庭園剪定など色々体験した事は懐かしい思い出です。

レイ大近江八幡支部同窓会に入会、その後支部会計を4年間担当、副支部長を2年間担当し、併せて6年間皆様のご支援とご協力により無事に勤めさせて頂きました。

最後に会員皆様の変わらぬご厚情を
宜しくお願いし併せて当会の益々のご

発展を心よりお祈り申し上げます。



中部

新提案を加えてめざした支部活性化

第20期 生活科学学科 齋藤吉太郎

集落の町づくりや社協V連協へのかかりなどに追われて、レイ大同窓会活動参加は極めて少なかった私に支部役員の要請があり、平成16年に中部支部副支部長をお受けしました。翌年2月、付き従っていた支部長辻正三氏突然のご逝去で、急遽後任の席を汚すことになり、以後3年間、支部長を務めさせていただきました。

すでに根付いている活動の継続をはかりながら、同窓会の魅力と会員の参加意欲を誘う活動をと、年ごとに新規性を加えた提案を含めて支部活動をすすめました。

近隣支部との交流を深めることも意義

ある同窓会活動と考へ、近江八幡、湖東両支部と連携して発足させた「3支部交流G・G大会」は、その後も継続して開催されるようになり、これからの盛り上がりを期待しています。

本部役員としては広報部を担当し、同窓会節目の『25周年記念會報』の編纂に携わったことが良き思い出です。「私の一言」で寄稿いただいた1,350名もの会員諸氏のお名前と一字一句に触れた感動が、今も新たに蘇ってきます。

受賞の栄に浴した喜びを忘れず、これからも折りに触れて同窓の皆さんとの絆を強めたいと思います。



湖東

心に残る吾の宝なり

第16期 文芸学科 高橋賀英子

老いて受く 晴れの授賞かえがたく
心に残る 吾の宝なり

この度、すばらしい功労賞をお受けし、大変、恐縮に存じ感銘しているところです。

レイ大を卒業して得たいろいろな財産を糧に充実した生活を満喫している毎日です。

子どもたちに書道を指導してきました。私も童心に返り、ある時は太い筆で力いっぱいに表現しています。「ウワー、ヤッター」子どもの叫びに驚きと満足感を味わっています。また、シルバーの方たちは、漢詩の練習に余念がなく、特に筆の使い方に工夫しながら相互にふれあい

を深めてきました。次に短歌の学習もグループで継続してきました。一輪の花を見ても美しさを感じ句につながり、自然に対しても感動をよびおこしてくれます。

これら、ご指導下さった先生方、友人の励ましのお陰であった事を、今あらためて深く感謝しているところです。

おわりに、同窓会員みなさまのご健康と同窓会のご発展をお祈り申し上げます。



楽しい生きがいの今日

湖北

第16期 スポレク学科 篠田 敏枝

本部総会において功労者表彰の授与にあずかり、心から感謝いたしております。

振り返れば今日元気で活躍できる事は、在学中はもとより卒業後もボランティアとして細やかなご指導を頂いた、草川一枝先生との出逢いがあったればこそと思います。

老人の余暇の活用法、自然体験学習など色々な実践体験を学んだ事は今では楽しい思い出です。現在も隣・滴・水、草川・輪と和の会に所属し草川先生を中心に、近江八幡のアクティホールで沢山の愛好者と、奇数月にレクダンス研修を開催しています。

また、米青春（マイセイシュン）の名のもとに卒業生対象のレクダンスを月2回、仲間と一緒に米原校の練習室で指導しています。卒業以来、長期に亘っては地元公民館でのレクダンス教室を、高齢

化に伴う会員数の変動はありますが「いい汗かこう、さわやかに」をモットーに今も継続して頑張っていますが、これらは全て一に健康、二に良き師、三に素晴らしい良き仲間にも恵まれたお陰であると、いつも感謝する事で元気を貰って活動を続けています。





高島

表彰を受賞して

第9期 文芸学科 中島 捨雄

心豊かなレイカディア大学、創設以来25期生のみなさんに至るまで、教養を高め小さな事でも社会にまた、身近な所へと自分なりに奉仕の心や精神的な布施の行動にと過ごされて居られる皆様に対し深く敬意を表するものであります。

小生等の第9期の入学式は天津で教室は県庁前のビルの四階でありました。警察公舎を南に見て俳句指導の天津錦織の藤本映湖先生より外を見て一句作る様言われた事もありました。(1988年)

それから20年余りとなります。今年5

月に県の総会に於いて表彰の一員として記念品をいただき、これと言う特筆すべき業績もなく誠に心苦しい思いでした。何より健康で皆様と共に行事には極力参加させて戴き之が何よりの宝であったと思います。健康に勝る宝はありません、健康での一日と病苦との一日の格差こそ病院生活の友人の事を思えば一層心したいものです。

皆様充分の健康に留意されまして過ごされます様祈念して愚問ではありますが一片と致します。



長寿慶祝受賞に際して

わが人生—忘れ得ぬ思い出

米寿をお迎いの33名の方々に、総会席上で長寿のお祝品が贈られました。
過ぎこし方を振り返り、忘れ得ぬ思い出をご披露いただきました。

米寿のお祝いをいただいて

大津支部 第12期 生活科学学科 三津川芳子

このたびは米寿のお祝いを頂きまして誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

私は昨年秋に胸部疾患で、大津日赤に入院し治療を受けまして、その後病状もよくなりましたので自宅で療養しております。体調が悪くなると入院し、病状が

よくなれば退院するといった繰り返しです。

そのような訳で今年5月にはレイカディア大学同窓会を退会いたしました。長い間同窓会でお世話になりありがとうございました。どうか皆様にはお身体を大切にご自愛ください。



忘れ得ぬ思い出、老大時代

大津支部 第5期 生活科学学科 丹保喜佐枝

老人大学って何だろう。当時私は59歳、職を辞めた直後でした。入学は60歳が決まりとの事で駄目かと思っていましたら入学式が9月との事で何とか入れていただきました。

これが今のレイ大の前身です。随分昔の話です。子育ても終え仕事も辞めた私

は興味しんしんでした。激動の時代を生きた私達にはまこと、オアシスのようなやすらぎと楽しさの日々でした。当時は夫も健在でしたし月2回の講義や実習も楽しみでした。これをきっかけに俳句、カラオケ、社交ダンス、グランドゴルフと趣味を広げ、ひどかった青春時代を少

しは取り返した思いです。長生きさして
いただいて悔いはございません。こんな

つたない私にこの度、長寿のお祝いを戴
き有難うございました。



ふれあいと学び

大津支部 第19期 生活科学学科 山元すなお

この度は思いがけなくも米寿のお祝い
をいただきありがとうございます。

88歳までの人生には、うれしいこと苦
しいことなど、いろいろありましたが、
今は元気で家族とともに平穩に老後を過
ごしております。

私の忘れ得ぬ思い出は、人生の後半期
に人とのふれあいにより、多くのことを
学ばせていただいたことです。

一つはレイカディア大学です。先生方

と学友の皆様には大変お世話になり、貴
重な教えをいただきました。人とのふれ
あいの大切さも教わり今も私の心の宝物
です。

二つは地域で民生委員を3期9年間務
めさせていただきました。地域の人との
ふれあいで多くのことを学び体験しまし
た。その後長女と三女も民生委員を務め
させていただきました。



長寿慶祝受賞して

草津・栗東支部 第16期 文芸学科 長崎 正夫

本年度のレイカディア大学同窓会総会
にて、米寿慶祝の御祝いを頂きありがと
うございました。

「88歳は、アツと言う間に迎え終えた
と」先輩から聞いておりました。私も同
様に迎え終えたように思いました。

学校を卒業して間もなく、北方軍司令
部軍人に召集され、札幌、帯広、樺太に
駐在し、終戦を迎えました。終戦後は、
大津市内の県庁内部の局に就職し、安定

した職に就くことになりました。

レイカディア大学にて学んだ師で、今
は亡き山村金三郎様には大変お世話にな
り、短歌の結社「好日」社に学び、少し
は短歌の理解を深めるようになりました。

最近は、「老」を歌った観世流の歌集
「老松」を好んで学んでおります。

又、在職中に習った曲のうち、「石橋・
道成寺・おおむ小町」は、稽古不十分に
終わっておりますので、再び稽古を始め

ようと考えています。

レイカディア大学同窓会の活動に感謝

し、益々のご発展を祈念いたします。



陶芸とともに米寿を迎えて

守山・野洲支部 第12期 陶芸学科 田村 進

「滋賀縣老人大学校陶芸学科卒業 平成3年9月」の額を見上げ昔を思い返した。思えば華の12期陶芸卒と自負し、卒業後も「水口老人福祉センター陶芸教室」に在籍、色々と欲ばった作陶活動を行った。A・B2組の構成だったが、作陶への欲望から、有志により「喜寿会」を結

成、穴窯にも挑戦した。せめて「喜寿」まで生きたいとの希望からのネーミングだったが、「米寿」のお祝いを頂けるとは考えてもいなかった。これも「レイ大OB」に在籍し、皆様から多大の友愛と激励を頂戴したお陰と、心から感謝を申し上げる次第です。

わが人生一忘れ得ぬ思い出

甲賀支部 第17期 園芸学科 竹内 平吾

過般、本同窓会より米寿のお祝いを頂き、恐縮次第で厚くお礼申し上げます。

この度、会報に上記のテーマで文書を提出せよとの事で、紙面も少なく概要のみ4項目を披露させて頂きます。

1) 常楽寺(旧石部町)開帳第1回(私としての)について

常楽寺始まって以来の盛大さで、今東光師を招き、御座主の御来臨を得、僧侶50人余の方々により未曾有の盛大な開帳が催され、私弱冠48歳で、執行委員長として無事遂行。

2) 西寺生産森林組合の設立について

当時、東寺・西寺の村有林に入合林

野権を設定、各人に図面上配分、これを現物出資して、法人西寺生産森林組合を設立、東・西寺役員が、数10回の会合と県の指導により完了することが出来、町村合併後の今日個人的財産として残せた事を何よりの仕事であったと今も忘れられません。

3) 東寺・西寺圃場整備事業の完成

旧来の田圃を1枚3～4反の田面に整備した。

4) 常楽寺開帳第2回(私としての)について

前回の開帳から30数年を経て、御厨子を開くときは、胸がドキドキし、無

事観音様のお顔を見るまでは心配でした。にこやかな優しいお姿に接し思わず涙がこぼれました。83歳の高齢で、再度、開

帳委員会会長として無事終えたことに感謝と感激で、忘れ得ぬ事の一つです。



心経奉讃文

近江八幡支部 第14期 園芸学科 小泉雅二良

そもそも般若心経と申すお経は、文字の数僅か二百六十余文字なれど、釈迦御一代の経七千余巻より選み出されたる御経なれば、神前にては宝の御経。仏前にては花の御経。まして家の為人の為には祈祷の御経なれば、声高々と読上げれば上は梵天帝釈四大天王、日本国中大小神祇、諸天善神諸大眷属に到る迄。哀愍納

受して我等の所願を成就せしめ給ふべし。

20世紀前半の我々は暗闇の時代（太平洋戦争従軍）、後半は努力の時代、そして21世紀はバラ色の余生の時代にと感ぜられる。

生ある限り天寿を全うすることを念願としている。感謝。



晴耕雨裁

中部支部 第11期 生活科学学科 白川 つぎ

この度は、米寿を祝って頂き有難うございました。

夫に付いていくだけの私が、夫の死で途方に暮れていた頃、老女の生活科学学科に入学できたお陰で、それまで気付かなかった、出来なかった裁縫の楽しさに目覚めることができました。

卒業後は、できる範囲のボランティア活動を行いながら、パッチワークなどにも手掛け、町文化祭や東京ドームへの出

品もできました。その間、多くの人との出会いと交流ができ、今も楽しく過ごすごうできています。

また、近所の方と会話しながら野菜・花作りを楽しんでいます。

近頃2歳になるひ孫から「おばあちゃん、トマト、おいちい」の言葉に励まされ、我が人生、命ある限り晴耕雨裁を続けていきます。

感謝

中部支部 第11期 生活科学学科 田井中せつ

この度は、米寿のお祝いをいただき有難う御座居ました。今一番喜んでいることは5・6年前に後輩達卒業生が村で老人の遊ぶ所「吉兵衛」を設立して下さいました。私もおさそいを受けましたが、その頃から少し体調が思わしくなく参加出来ず残念でしたが、ほんの少しの志を、おとどけし次の週には参加しようと思

ガンバリましたが今では週2回、のと川園のデイサービスに通って居る今日この頃です。今の私にこのお祝いは一番の何にかえがたい頂き物でした。

私もこれを機に今まで以上にガンバル勇気が湧いてきました。ほんとうに思いがけないお祝い有難う御座居ました。皆様にも宜しくお伝え下さい。

米寿を詠む

湖東支部 第20期 文芸学科 宮下 勉

数々の
出合いがありて
歳重ね
米寿迎うは
有難きこと

大正11年の出生から平成21年の現在まで、激動の時代を生き延び、今年で米寿となり先般はレイカディア大学同窓会総

会に於いて長寿慶祝の榮に浴しました。

同年男子の三分の一が戦死し、70、80の歳ともなると寿命尽きる友も多くなり余命を保っているのが不思議と思うこともあります。

永年の間には、数々の人との出合いがあり、様々の体験を重ねて、充実した人生だったことを感謝しています。

米寿を迎えて

湖東支部 第16期 スポレク学科 藤田由三郎

去る5月の総会に於いて長寿慶祝の披露を受け記念品迄頂戴し、誠に有難く御

礼申し上げます。

さて今回の米寿の喜びについて一言所

感を投稿する事になりましたが、何分老齡老朽の身制限内にまとめる事が困難でありお許し願います。又、大変素晴らしかった最後の大正琴の演奏について少し述べてみたいと思います。改良された琴は非常に豪華と申しますが、会場割れんばかりの大音響で最後に会場の中よりど

なたか独唱をとリクエストがあり老齡で自信もない身であり乍ら独唱を引き受ける事になり、結果は大音響の伴奏に気をとられマイクの扱いがうまくゆかず大声となり、思い出の琵琶湖周航の唄も台無しとなり皆さんに不快を与え大変申し訳なく反省しています。



梅本先生を偲んで

湖北支部 第18期 生活科学学科 西堀 貞江

米寿のお祝いありがとうございます。忙しい毎日を送っていた私に17期生の友達が、レイ大へ行かないかと誘ってくれました。

私は健康で車にも乗っていたので、早速手続きして入学する事が出来ました。クラス仲間はとても良い人ばかりで授業に出るのが楽しみでした。卒業後も年1回は集まり健康を喜び合い話に花を咲かせる時が楽しみです。

手芸の梅本先生が引き続いて大津から米原まで指導に来て下さり、いつも笑顔で接して頂きましたが、昨年亡くなられ吃驚いたしました。往時を偲んで皆さんと集まり、ご冥福をお祈りした後は、いつもの楽しい一刻を過ごしました。

レイ大在学の2年間に結ばれた仲間の絆は何物にも変えられない宝物として、終生変わることなく大事にしたいと思っています。

変革の時代に生きて

湖北支部 第14期 文芸学科 間所 喜代

「老婆は一日にして成らず」と何処かで誰かに聞いた様な気がするが、私も88歳の今日まで生き、生かされてきて人並みに喜びも悲しみも楽しい事も経験してきました。

特に戦前から戦後にかけての社会の変

革は凡てにおいて大変なもので、今にして思えば又、面白い時代でもあったと感じているところで、特に今世紀ほど女性の社会的地位が躍進した時代は、長い歴史の中でも無かったでしょう。こうした世代に女性として生き、生かされてきた

事と、長寿の慶祝を受けられた事を思うとき、私はなんと幸せ者よと感謝の念が沸々とわいてきました。

この変化の激しい時代に生を享け、無

事に今日を迎えられたのは、多くの隣人の暖かい支えがあった事を忘れてはならないと肝に銘じています。



生涯忘れ得ぬ友と

湖北支部 第18期 文芸学科 松井 茂雄

同窓会からの慶祝を戴きありがとうございます。

世情限りなく変転する時代に生を受け、その波に揉まれながらの80余年、思い出はあまりにも多く枚挙しかねるばかりですが、徴兵制度の名のもとに、中国大陸に転戦したどうにもならない過去も、忘れ得ぬ思い出であります。このことによって出会い・深めたかつての戦友と呼ぶ

名の人間関係は他に比較出来ない生涯の友となっています。

生きて故郷の土を踏み、平和な国に住める吾々は、戦争廃絶を心に秘めて生きる喜びを見つけてゆくことを誓いあいました。

また、レイカディア大学に学び、広い地域から得た学友の交わりも忘れ得ぬ思い出です。

長寿の祝いと私の思い

湖北支部 第11期 スポレク学科 谷田 芳男

今年度、総会の席で長寿慶祝を戴くことになり、支部長より出席の案内を貰いましたが、折角ながら身体の具合が悪いのでご辞退致しました。

その後、風邪を拗らせて肺炎を併発、入院中にお祝いを届けて頂いたと家内が病床に持って来てくれたので、共々に大変喜び合って感激致しました。まことに有難く厚くお礼を申し上げます。

私も退職した後は「いつでも」「どこ

でも」「だれとでも」をモットーに老人会の行事に前向きに取り組んできました。

ゲートボールにも熱中し、健康にも留意しながら県内は勿論、全国大会にも出場したのですが、一年程前から体調を崩し、今では入退院の繰り返しです。

一日でも早く元気な身体に戻り、出来る範囲で社会に貢献したいと思っています。

終わりにあたり、レイ大同窓会の更な

る発展をご祈念申し上げ、お礼の言葉と致します。



「感謝の日々」

湖北支部 第11期 生活科学学科 川崎 英

レイ大同窓会の地区役員の方が、米寿のお祝いを届けて下さり、誠にありがとうございました。

88歳という私の歳が咄嗟にわからない程、頭の方が衰えてきております。

数年前までは地域におきまして、皆さんと健康体操などを先頭になってやっておりましたが、歳と共に体力も落ち、根気も欠けてまいりました。孫達も独立して家を離れ私一人で留守番をしているのを、家族が心配してくれまして週に3～4日ディサービスに行く事になり、そこ

の皆さんと楽しくすごしています。

今では身体は健康で自立しておりますが、頭のスイッチが時々接続不良になる事があり、この原稿もやっとの思いで書いています。

ここまで幸せに暮らさせて頂いておりますのも、周囲の方々や家族のお陰と日々感謝いたしております。

それでは皆様方の益々のご活躍と、レイ大同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。



わが人生忘れ得ぬ思い出

湖北支部 第11期 生活科学学科 前田 恒子

長寿慶祝授与のお招きを受けながらあいにくの体調不良で欠席させて頂きました所、わざわざお祝い金を届けて下され感激しています。何か記念の品を求めて未永く残させて頂くつもりです。

私の主人が平成元年に秋の叙勲を授与される事になり、受賞の日が11月14日と決まりました。

その日は偶然にも私の67歳の誕生日で

こんな不思議な事もあるのかと大変驚き、感無量の中を夫婦同伴で式に参列し天皇陛下に拝謁、金銀を積んでも得られぬ何よりも立派な贈物を賜り、私達は世界一の倅せ者だとしみじみ噛みしめたのは、私にとって生涯忘れ得ぬ思い出です。

清貧の 一本道に 菊かほる
(17年前に逝った主人の句)



悲喜交々の人生

湖北支部 第7期 園芸学科 中村 重之

米寿の御祝いを受け誠に有難う存じませぬ。

長寿の慶びと裏腹に、長年連れ添った家内が、くも膜下出血で、療養生活を続けていましたが、本年4月他界いたし、私自身も体調を悪くし、長寿慶祝の席に出席させていただきませんでした。私達は学卒後社会に出て、しばらくして戦争がはじまり、次々戦地に向かって、卒業

生80人中29人が戦死しました。毎年続けていた同級会も、今では7人集まればよい方となってしまいました。老大同期生も県内名簿を見ても、見当らなくなりました。

8月お盆が近づく頃は、亡き人の冥福を祈りつつ長生き出来た喜びを感謝しつつ、余生を有意義に生きて行き度いと願っている次第であります。

看護師さんに感謝

湖北支部 第15期 スポレク学科 栗津 貞子

心臓のモニターに少しでも異常があれば昼夜を問わず、何度も病室へ駆けつけて下さる看護師さん。特に夜中は人数も少なく、多くの重症患者を受け持って大変なことと、頭の下がる思いで一杯です。

持続点滴の見まわりから食事の世話、爪切りから髭剃りと、介護も大変な仕事なのに、更に身体の清拭と排泄汚物の処理など、嫌な顔もしないで世話して下さい、本当に申し訳なく感謝の気持ち一杯です。

高度の医療を求められる昨今の看護師さんは、とても大変な事だと思うとともに、自身の健康には充分気をつけられ、

現在の高齢社会のサポーターとして頑張っておられることを、心から願っております。

私たち高齢者も健康維持に気を配り、出来る限り自立を続けられるように努力して余生を楽しく過ごしたいと思っております。



米寿の喜びと近況

湖北支部 第14期 園芸学科 宮下 義雄

思いもよらぬ米寿のお祝いを頂き心より嬉しく厚くお礼を申し上げます。

跡継のない私としては予期しない慶びであり感激しています。

私は昭和17年に現役入隊し、北支、沖縄そして終戦と生きて帰還できたのが奇跡だったと思っています。まして米寿を迎えられるとは全く想定外でしたが、今は2年前に妻を亡くして独居生活、加えて足を痛めて細々と闘病の毎日を送っています。

老人大学生であった往時を偲びながら、心の健康と安らぎを保つために、下手ながらも歌の投稿を楽しんでいる次第です。

末筆ながらレイ大同窓会の益々の発展をご祈念申し上げます。

亡き母が 育てし畑の匂を
いのしし親子が 掘り起こしたり

道遠し 歌は余生の 力杖



短歌に生きん

高島支部 第14期 文芸学科 小林 鈴子

平成3年10月第14期生として文芸学科に入学、短歌は山村先生に、書道は三原研田先生に教わった。たった2年間ではあったが皆さんと百年の知己の様に和気藹々として仲よく楽しく勉学に励んだ。卒業後も山村先生にご指導いただいた。ある日突然に先生が亡くなられ悲しみにくれた。その後も歌は作りつづけて今日に至っている。これからも研鑽を積んで作歌に励んでゆきたいと思う。

こうして元気で健康で今日、米寿を迎えることが出来たのも友ありて、家族ありてこそと感謝して居ります。この健康が一日でも長く続くことを祈念して終わりとします。

かぎりなき 空の青さよ 米寿なる

今日軽がると ペダル踏みゆく



俳句と出会って

高島支部 第14期 生活科学学科 松下 芳子

小さな町の小さな句会に80歳近い母と一緒に世話になっていつしか40年。思えば私の半生は俳句と共に歩んでいました。2年余りで母は他界しましたが、自然豊かな故里の四季を詠む楽しみを共にすることができました。草花や虫の声にも心を寄せる。一本の鉛筆と紙があれば楽しめる吟行。知らず知らずのうちに私の心のよりどころとなっていました。

40年の刻の流れの中で、多くの人々との出会いがあり数知れない思い出を句友と共有できました。若し母が誘って呉れていなかったら俳句との出会いはなかったかも知れません。そして米寿を祝って貰える程の健康体を授けてくれたのも母。感謝しながら残る人生も楽しく送ってゆきたいと願うばかりです。



私の余生

高島支部 第15期 生活科学学科 林 美栄

先ずは米寿の御祝い有難う御座居ます。今年は今までにない「グロテスク」な夏のように感じます。あちこちと災害を受けられた方々の思いはいかばかりかと心より御見舞い申し上げます。

老いし私は何の手伝も出来ないのが残念です。一人暮らしの私の出来る事は、

ただ一つこれからは健康に気を付けて人様になるべく迷惑を掛けぬ様に人々との出会いを大切に御先祖様の御恩を忘れずに、生かされて生き、生きて居る一日一日を楽しく元気でころりを念じ乍ら悔いのない余生を送りたい、感謝の心を忘れずにして。

本年度の長寿慶祝受賞者のうち、5名の方からは諸事情で原稿が頂戴できませんでした。お名前のみご紹介いたします。

支部	氏名	学科	卒期
近江八幡	深尾 愛子	生活	15期
中部	古株栄三郎	園芸	10期
湖東	清水 はる	文芸	14期
湖東	上田千代子	スポレク	19期
湖北	川崎重兵衛	園芸	12期



2009年

各支部の活動

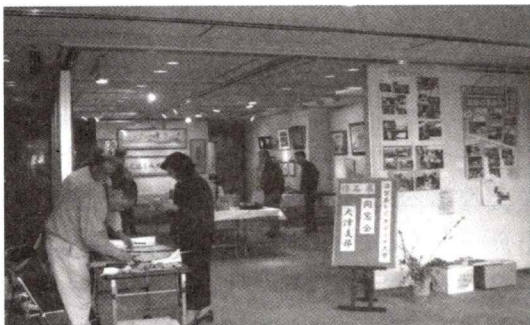
大津支部

大津支部の新しい動きあれこれ

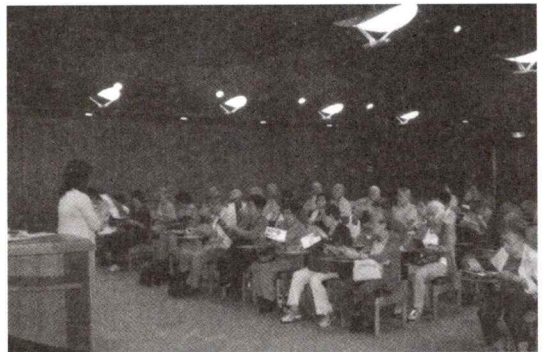
大津支部の新しい活動を中心に紹介します。

- 1、総会を会場費無料のレイカディア大学草津校で実施し、会食抜きの方式で実施した。また、会則を一部修正し、地区の2か所で小学校区対応の分割をすすめ、役員数を増加した。
- 2、健康部長の突然のお別れがあり、部長交代があったが、従来の計画を受け継ぎながらも、運営面で、新鮮なあたたかい活動が見られた。
- 3、研修部と健康部共催でバス旅行に代わって、JRを利用し、近江八幡休暇村で、グラウンドゴルフと宴会、水郷めぐりの旅を実施しました。
- 4、ボランティア部の呼びかけで、中核都市にこの4月より移行した大津市の新事業、違反広告物除去ボランティア「大津まちなかスッキリ士隊」にレイ大・大津支部で団体登録し、2次募集では、役員会に市職員の出前講座を行い、大量の入会を果たし、200人程の中で、最大のグループになった。
- 5、文化部に生まれた多くのサークル（パソコン同好会、マジック、川柳、絵手紙、フォトウォーク）がそれぞれに活動したが、それを支えるため、活動助成費を支給した。また、第一回のサークル交流会をピアザ淡海でなごやかに10月に行った。

なお、昨年来行ってきた、5部会などの行事も計画通り進行しており、別に報告する新年会、新会員の歓迎会、などの継続行事も順調にそれぞれ知恵を出しあってにぎやかに進めています。下の写真はいくつかの事例を紹介しています。



3月20～22日作品展（大津市生涯学習センター）



6月26日公共施設セミナー（美術館）



4月25日レイ大草津校での総会



10月2日新会員歓迎会（大津市生涯学習センター）

草津・栗東支部

◎作品、活動展

3月27日～29日 草津市立図書館

・来場者 129名

・出展者 32名



◎支部グラウンドゴルフ大会

(春季) 5月20日 於・草津市弾正公園

(秋季) 9月23日 於・草津市弾正公園

2大会を通し勝敗よりも親睦を深め、健康で参加し、楽しくプレーできる手足に感謝する。

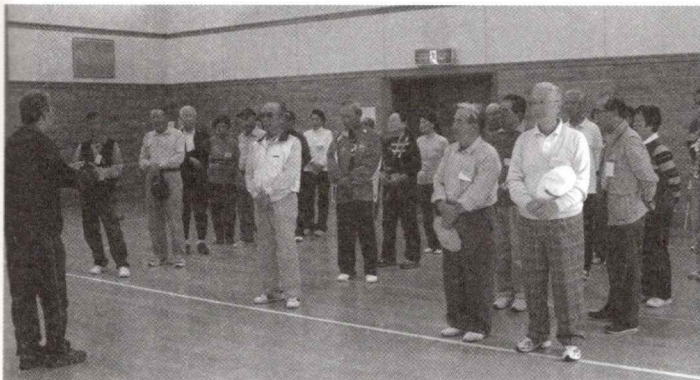
(春季は79歳 木下忠夫様 優勝)

(秋季は80歳 亀田 貢様 優勝)

◎新入会員歓迎懇親会

10月9日

於・草津市大路市民センター
新入会員12名出席のもと、
自己紹介、行事案内、入会
動機、在学中の同窓会理解
情況、今後の在学生への働
きかけについて意見交換を
行う。



◎ディスコン支部交流会

10月21日 於・レイカディア大学
草津校 体育館

大津、守山・野洲、甲賀、草津・栗東
支部会員、奥村会長、3支部長を
含む総勢27名が3時間に渡り全員
参加で技能を披露する。

笑いとお声の入り交じった時を過
ごす。

守山・野洲支部

グランドゴルフコンペとお花見 開催されました



ハルアルコールビールで乾杯!



4月3日(金) 当支部グランドゴルフ愛好会小コンペ兼桜花見親睦昼食会が開催され、青空のもと36名の参加者で盛り上がり、楽しい一日でした。

結果は次の通り

優勝	宮川	良知	氏
準優勝	山内	三	氏
第三位	三輪	章	氏

第 11 回 作 品 展

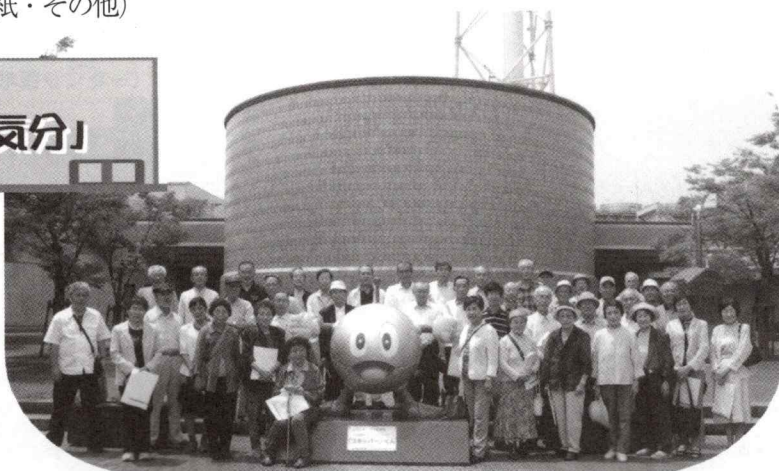


4月9日(木)～13日(月)・守山市立図書館2階展示室ホールで支部作品展を開催。178名の来場者があり、好評を博しました。内容は次の通り

出品者 48名、出品点数 123点
(書・絵画・写真・陶芸・絵手紙・その他)

今年の研修旅行 「帰りはほろ酔い気分」

6月24日(水) 天気心配されましたが、夜半からの雨もやみ、道中では晴れ間もでる絶好の日となり、42名の参加者で楽しく、にぎやかに研修旅行を終えることが出来ました。大阪ガスでは工場見学と色々の実験を…サントリー山崎工場では最後においしいウイスキーを頂き、満足の日でした。
幹事さん…ご苦労さまでした。



甲賀支部

1. 「平成21年度 甲賀支部 定期総会」

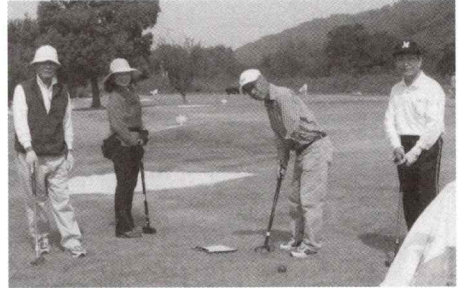
4月11日（土）甲賀市水口町水口中央公民館にて開催
講話「高齢者の交通安全と振り込め詐欺事件」甲賀警察署

2. 「甲南の古社寺などをウォーク」

6月10日（水）甲南町の名所ある古社寺や甲賀流忍術屋敷見学

3. 「甲賀支部会員グラウンドゴルフ大会（第1回）」

7月3日（金）水口町 野洲川GG場

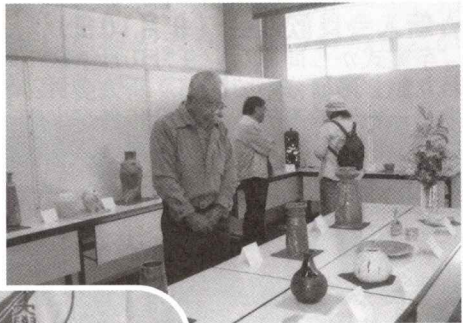


4. 「甲賀支部会員グラウンドゴルフ大会（第2回）」

9月18日（金）湖南省親水公園GG場

5. 「守山・野洲支部との交流グラウンドゴルフ大会（第2回）」

9月18日（金）湖南省親水公園GG場
甲賀支部会員グラウンドゴルフ大会
と兼ねて実施



6. 「平成21年度趣味の作品展」

10月10日（土）～11日（日）甲南町
「忍の里プララ」

7. 「平成21年度新入会員歓迎会」

10月11日（日）
甲南町「忍の里プララ」



8. 「一日研修旅行」

11月27日（火）
福井県小浜市美浜原子力
発電所見学・古寺拝観

9. 「甲賀支部だより」 （第9号）

3月1日（月）発行



近江八幡支部

☆支部定期総会（4月27日）

例年どおり「坪清」で開催。支部役員の改選期にあたって、新執行部が承認された。



☆本部定期総会を主管（5月16日）

午後1時から近江八幡市文化会館小ホールで開催。雨天の中221名（内近江八幡支部68名）の参加を得た。アトラクションの大正琴エレキバンドが好評だった。

☆支部グラウンドゴルフ大会（7月15日、9月29日）

いずれも馬淵町何合グラウンドで開催。第1回41名、第2回37名が参加。第2回大会成績上位者から本部交流大会の出場選手を選考した。10月15日の交流大会では、10チーム中第2位の成績を収められた。



☆新入会員歓迎会（9月10日）

卒業式から間もない9月10日午後1時半から、ひまわり館2階研修室で開催。新入会員21名中15名、支部役員、地区幹事等30名合計45名が出席。支部執行部役員および新入会員の自己紹介のあと、執行部から支部の歴史、現況、年間行事等について説明。つづいて質疑と懇談。新入会員にお祝いとして洋菓子を進呈、欠席者には自宅までお祝いをお届けした。



☆支部会員作品展（10月1日～3日）

ひまわり館1階大ホールで開催。出展者43名。作品数79点。例年より出展者が少なかった。30期から文芸学科が地域文化学科に転換され、書道が無くなった影響が出てきた。



☆研修旅行（10月28日）

東大寺二月堂の若狭井へ水を送る行事の残る小浜市郊外の神宮寺を拝観、住職から小一時間にわたり神仏習合、天地垂迹説、明治の神仏分離施策にいたるまでの思想、歴史、地理等について講義を受けた。途次、若狭塗箸の研ぎだしの実習などもあり有意義な一日だった。



今後の予定

- 21年11月19日 湖東、中部、近江
八幡三支部交流グラウンド
ゴルフ大会(当番湖東支部)
- 11月下旬 支部会報第28号発行
- 12月2日 料理教室
- 22年2月中旬 生活講座「相続と遺言」
- 3月中旬 ニュースポーツ大会

中部支部

4月23日 市福祉センター延命荘で支部総会を開催。59名の出席のもと無事終了しました。溝井好夫さんのあざやかな手さばきの手品に魅せられた、ひと時でした。



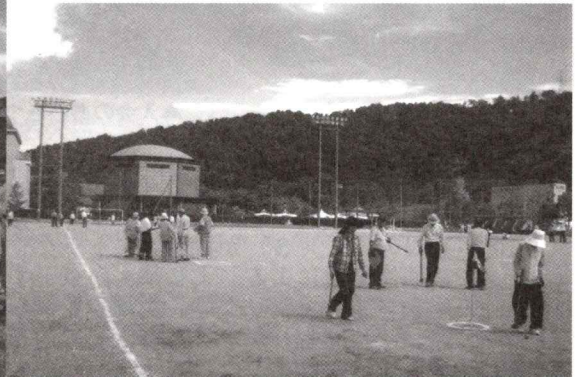
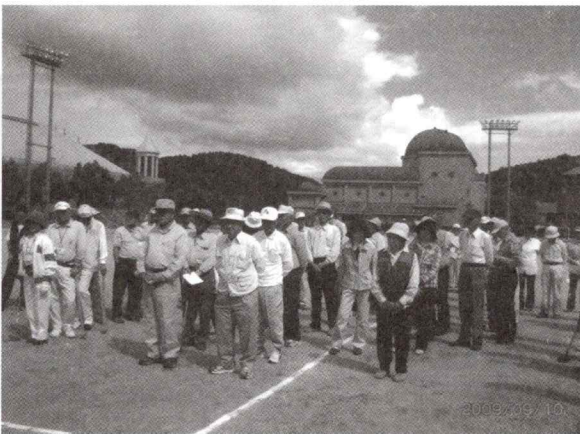
6月2日

支部活動のトップバッターの「歩こう会」を実施しました。五個荘町の『てんびんの里』を観光ボラさんのわかり易い説明を聞きながらの楽しい一日でした。



9月10日

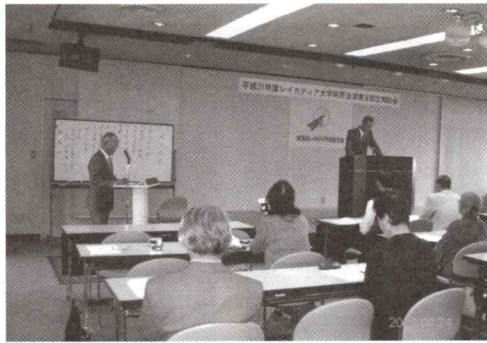
グラウンドゴルフ大会を安土町文芸の郷グラウンドで開催し、絶好のスポーツ日和のもと、64名が参加しました。



湖東支部



▲28期生活科学学科 外村輝夫さんの講演



▲総会風景

◆平成21年度定期総会

5月8日、彦根勤労福祉会館で定期総会を開催。総会、講演、懇親会となごやかな一年のスタートとなりました。

◆作品展

7月3～5日の3日間彦根市民会館ギャラリーで開催、出展者40名、出展数56点、力作揃いの展示で、4日の中日新聞のびわこ版に作品展が取り上げられ励みとなりました。



▼会場風景▼



▲上位入賞者のメンバー



◆グラウンドゴルフ大会

9月25日、甲良町運動公園で開催。47名の参加者が集い楽しくプレイ、優勝は野口勇さんでした。上位入賞者は本部大会へ出場。地元開催で他支部に花を持たせたのか？それなりの敢闘でした。



▲難コースOB続出



▲入会のあいさつ

◆新会員歓迎懇親会

9月18日、甲良町一休庵で開催。今年は23名の新会員を迎え(内16名)出席のもと、総勢81名(会員の約1/3)が参加。アトラクションでは同窓会員による、よし笛、南京玉すだれ、座敷音頭、マジック等、次々と見事な芸を披露、4時間余りがアツと言う間に過ぎ、楽しく交流がはかれました。



▲歓迎のあいさつ

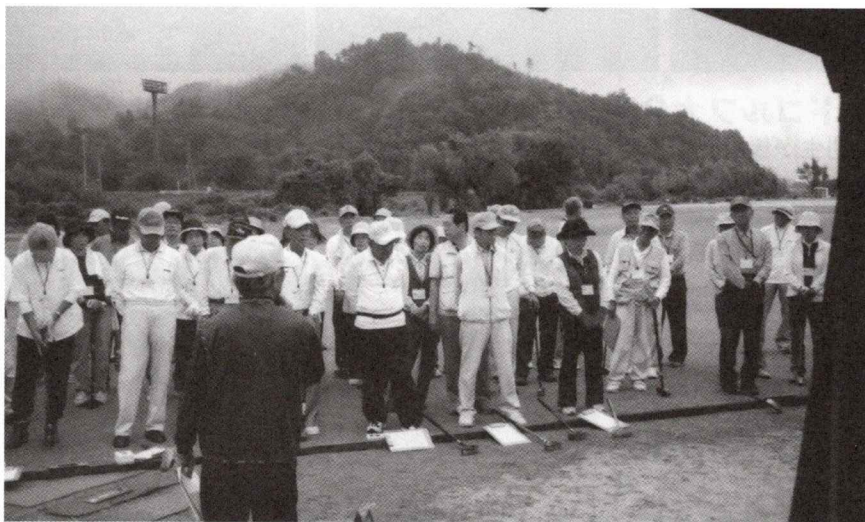
湖北支部

●総会について

- 1, 会場 北ビワコホテル「グラツィエ」
- 2, 日時 4月28日 月曜日
開会 午前10時より、
懇親会 正午より
- 3, 議案書 事前に役員を通して全会員へ
- 4, 案内 議案書と同時に配布
- 5, 出欠 役員(地区担当)を通して取り纏め
- 6, 会場費 2万円
※懇親会を行うことで割安に
- 7, 懇親会 会費制3千円 57名と来賓4名
今年度 24万円メ(支払額)
- アトラクション あり①会員有志のヨシ笛演奏
※謝礼不要②新会員(スポレク卒)の演奏
- 8, 総会出席者 会員65名、来賓5名

●第10回支部会員交流G・G大会

9月29日(火)草野川河川敷の浅井G・G場に会員78名が集い、参加した新会員8名の紹介に続いて支部交流大会代表選考を兼ねた熱戦を展開、楽しいひと時を過ごし良い汗を掻きました。



●第30期生、新入会員歓迎会

10月23日米原公民館研修室で新入会員11名(10名欠席)と地区担当役員が出席して開催した。新会員には各自のプロフィールを紹介して貰ったが、皆さんが多面に亘る活動報告をされて、主催した会としては時間不足の状態でヤキモキ、最後は会食しながらの意見交換となった。

新会員には前年までと同じく、祝い品として支部名を印字した「2プラス1」ボールペンを進呈した。

前日22日に米原校でレイ大休校の発表があり、その情報が在校生から新入会員に入っていて、質問があり情報伝播の早さに驚きながら、同窓会活動には変化がない事、休校撤廃に向けた運動に対する協力を本部に依頼した。

●日帰り研修旅行

9月25日(金)人と防災未来センターと灘の酒蔵見学の研修旅行を参加者33名バス1台で実施。阪神淡路大震災記念として建てられた防災未来センターでは、地震の破壊力の凄さを大型映像と音響で体感、語り部の体験談に感動し、震災直後のまち並みジオラマ模型や復興の過程を写真で観賞し、人間の生きる力のすばらしさを垣間見た思いがした。

シーバル須磨で美しい海を眺めながら昼食の後、海洋博物館や鼓をデザインしたポートタワーを見学し、帰りには菊正宗酒蔵に立ち寄り説明を受けたあと、各々が銘酒を試飲し好みの酒を購入して午後7時すぎに帰着した。

旅は本当に眼の保養をし、心を癒してくれるので高齢者には何よりの保健薬であると感じた。

高島支部

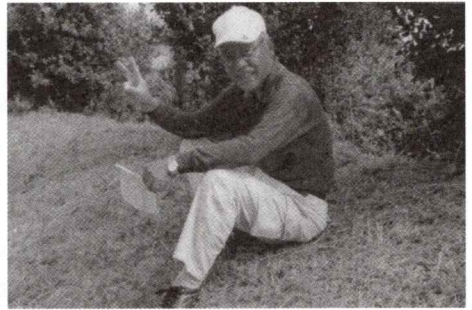
<第三回作品展> 平成21年3月5日から7日の3日間、新旭町コミセン「ほおじろ荘」で開催。三回目で作品は合計109点とすこし少なくなりましたが、力作、秀作がそろい、観賞頂いた方も100名をこえ、盛会裏に終了。



<21年度総会・懇親会> 21年5月8日新旭町の「鳥居楼」で開催。参加者は22名で少しすくなかったが、20年度の事業報告、収支決算報告、21年度の事業計画が了承される。その後、懇親会。和やかに酒を酌み交わし歓談。みんなそれぞれの地域でボランティア活動をしている様子が話され、レイ大讃歌、懐かしい童謡を合唱。再会を期し散会。



<グラウンドゴルフ大会> 9月25日、第11回支部親善グラウンドゴルフ大会開催。なんと現役31期生が優勝。準優勝は新会員の藤原さん。



<新会員歓迎会> グラウンドゴルフ大会の後、新会員歓迎会。新会員は藤原さんただ1人。今年は、会員2人、現役生2人の4人の葦笛演奏でスタート。本年初めてで、澄んだ音色にみんな聞きほれたよう。



2009年 各支部の活動 —そのII

各支部の総会

支部名	総 会				アトラクション		特記事項
	会 場	会 場 費	議案書 の配布	案内・出欠 事前、当日の出席者数	あり なし	内 容 講演、会食(会費) 余興など	
	日 時	参加会費					
大津支部	レイ大草津校 4月25日(土) 13:00~15:30	無料 (付帯設備費 1,000円) 無料	当日	往復はがき 本部総会も 同時 65名	あり	マジックショウ (出演謝礼: 1万円)	*初めて草津校で *まあまあの評判 *過去はアヤハホテル で会食が多い (参加費3,000円程度)
草津・栗東 支部	アヤハレーク サイドホテル 4月17日(金) 10:00~14:00	食事代込 4,300円	当日	かわら版 号外 学区理事が 確認 41名	あり	会食 講演、 草津総合病院院長 ハーモニカ伴奏で 歌、詩吟	1分間スピーチ
守山・野洲 支部	ホテル琵琶湖 プラザ	食事代込 3,500円	当日	62名	あり	会食 (カラオケほか) 史跡見学 (恒例)	ホテルバス2台で 送迎
甲賀支部	水口中央 公民館 4月11日(土) 13:00~15:00	500円 (減免) 1,000円	事前	担当理事が 確認	あり	会食 講演 (謝礼無料)	
近江八幡 支部	坪 清 4月27日(月) 10:30~12:00	3万円 4,000円	当日	地区委員が 確認 60名 来賓6名	あり	会食	
中部支部	東近江市老人 福祉センター 4月23日(木)	0円 1,000円	当日	59名	あり	会食 マジックショウ	
湖東支部	彦根勤労 福祉会館 5月8日(金) 10:00~14:30	食事代込 3,000円	事前	常任委員が 確認 47名	あり	会食 講演 (謝礼5,000円)	
湖北支部	北ピワコ ホテル 4月28日(火)	2万円 3,000円	事前 配布	案内書配 布後役員 が確認 65名	あり	会食 よし笛演奏 29期スポレク 演芸	
高島支部	鳥居楼 5月8日(金) 11:00~14:30	食事代込	前日 迄に	口頭 地区委員 23名	あり	会食 新会員紹介	
本部総会 (参考)	近江八幡市文化 会館小ホール 5月16日(土) 13:00~16:00	29,180円 無 料	事前 配布	支部ごと 人数把握 来賓市長 221名	あり	K&M Eiectoric Taisyougoto Band (謝礼3万円)	

《特集》

支部の一押し

各支部より「一押し」の人物を中心に、支部幹部および広報部員による取材記事を集めました。

レイ大同窓会大津支部・新事務局奮戦記

大津支部 第23期 園芸学科 増田泰男さん

当年69歳、今年4年目の初代大津支部事務局長は大津支部に大きな足跡を残してきています。これまでの主な歩みを拾い上げて列記してみます。

1, 平成18年2月某日、新支部長候補より、事務局長の人選に難儀しており、なんとか引き受けてほしいと要請を受け、条件付きで引き受ける。(条件とは現在精密検査の結果待ちで、その結果悪い場合はお断りする) ありがたいことに白の結果で、総会にて事務局長に就任。

2, 新米の会長とコンビで役割分担を模索しながら、役割を開拓していく。

役員会の案内と準備、役員会の資料づくり、配布のやり方(地区毎の通り茶封筒作成)、準備と司会の4地域当番制の導入、議事録の作成、5部会への根回し。

3, 組織開発の準備と実施

平成18年度は大津支部活性化の施策のため行った会則の、全面改定の実施の年であり、その一環として、事務局長を新設し、新事業を新たに起こすため、「ボランティア部」を新設した。また作品展のみにとどまっていた文化部の活動に、ユニークな新サークル(マジック、絵手紙、川柳、パソコン、フォトウォーク)を加えた。

4, 実践活動

(1) 具体的には、44名役員は5部会(健康、文化、研修、ボランティア、広報)のどれかに所属する方式の導入。そして、自分は文化部、広報部、の2部会の兼務、サークルは3つ、そして絵手紙サークルの世話役、と縦横無尽の活躍です。

(2) 全体行事としては、総会(原稿作り、資料づくり、案内、当日の準備)新会員歓迎会(企画、案内、会場手配、プログラムづくり、当日司会)

5, その他

大津市生涯学習センターのボランティア団体チャオ(約60名)の今年度会長。増田夫人と岡崎の家人は大津市の代表的な女性合唱団・日吉台合唱団のメンバーで、今年、増田夫人は副団長であり、そのご縁で、12月12日(土)生涯学習センターのクリスマス行事に「みんなでうたおう・日吉台合唱団とともに」が実現しました。

おわりに

駆け足でこの3年半の事務局長の活躍ぶりを紹介させていただきました。どこの支部もそれぞれ、多彩な人材がいて、支部活動、そしてそれぞれの地域での貢献をして下さっていることと思います。

大津支部にもきらきら光る人物が多数いますが、支部長の右腕として、支部を支えていただいた増田氏に謝意を込めてご紹介させていただき、他支部のみなさまへの参考情報として報告させていただきました。

(取材者：岡崎一郎)



H21年度大津支部総会(レイ大・草津校)



H21年度新会員歓迎会(大津市生涯学習センター)

レイ大同窓会大津支部・新年会ものがたり

大津支部 第19期 文芸学科 小田悟男さん

今年大津支部は第5回新年会の企画案がほぼまとまったところです。

過去の実績は次のようです。

第1回	平成18年2月7日(火)	くし屋敷	24名
第2回	平成19年2月6日(火)	二葉屋	31名
第3回	平成20年2月5日(火)	あたか飯店	44名
第4回	平成21年2月6日(金)	KKRびわこ	54名

ここで、大津支部の会員数は250名程度とここ数年あまり変化がないのに、参加人数が順調に伸びていることに、感動しました。

この、同窓会の仕掛け人が小田氏です。たかが、新年会と思われる方がおられるかもしれませんが、今回取材してみて、それなりの工夫と根回しのきめのこまかさ、うまさを実感しました。それは、いろんな組織の活性化のヒントを含むと感じました。

経過を少し振り返りますと、小田氏が中央地域のまとめ役として、副支部長時代に、地域の会員間のコミュニケーション不足を感じ、潤いのある、楽しいつどいにしたいと思い、中央地域の新年会を「くし屋敷」で平成17年2月7日に実施し3分の1近い会員21名が参加し、好評裏になごやかに終わりました。

その成果を踏まえ、平成18年度の役員会に支部新年会を提案され、自ら世話役を買って出て、それ以来先の実績表のような立派な成果を出しています。

毎回、アンケートをとり、その結果を役員会できっちり報告し、次回に反映しています。

2年目からは、新年会委員を各地域から1名出し、委員会にて協議し、受付や世話役といった役割を分担して、行う方式に改善をしています。

大津支部の活動成果、そしてより楽しい集いになる下支えをこのような形で、果たしてくれていることにこの場を借りて、感謝の意をささげます。

小田氏の同窓会での役割の実績を下に示します。

- 大津支部理事：6年
- 大津支部副支部長：2年
- 本部理事（広報部）：2年
- 大津支部新年会代表世話人：5年
- 大津支部総会議長：3回

なお、平成21年度大津支部新年会委員は次の5名で、順調に準備が進んでいます。

代表 小田悟男（第19期・文芸）、門前重一（第22期・スポレク）、小川陽一（第20期・生活科学）、中野清（第24期・陶芸）、齋藤治子（第19期・陶芸）

（取材者：岡崎一郎）



平成19年2月二葉屋にて



平成21年10月新年会委員会

次世代へ繋ぐボランティア活動を目指して

大津支部 第28期 園芸学科 山田隆造さん

昨年10月10日の大津支部新人歓迎会にて、「森の風音」での活動状況を中心に発表、今年10月2日の新会員歓迎会の日は東京にて、「地域活動推進中央研修会」にて近畿ブロックを代表して発表をされました。そして、現在毎月参加しているボランティア等は次の通りで、地域福祉のため、レイカディアで習った園芸の技を生かしたり、コーディネートしたり、仲間と共に、元気に楽しんでいます。

- 1, NPO法人「森の風音」(びわこ文化公園)
- 2, 施設花ボランティア(緑のふれあいセンター)
- 3, ハートフルガーディナー園芸福祉おおつ(大津公園緑地協会)
- 4, 二八園芸(近江富士花緑公園、大庄屋諏訪屋敷庭園)
- 5, おおつ傾聴ボランティア・ダンボの会(大津市ボランティアセンター)
- 6, 囲碁・将棋対局ボランティア(大津市ボランティアセンター)
- 7, おやじのたまり場「ボランティア活動研究会」(大津市ボランティアセンター)
- 8, 大津市教育委員会社会教育委員

「森の風音」主宰の金子隆太郎という立派な先生に出会う幸運をつかみ、在学生のインターンシップ受入れ先として「森の風音」とレイカディア大学とを繋ぐ等、先生とも信頼関係を築き、東京での発表会に選ばれています。

ボランティアに対する、信念を明確に持ち、それは、シニアにとって、生涯学習の場であり、居場所づくり、生き甲斐づくり、次世代への繋がりづくり、と多面的にそして本質的にとらえている。

さる、10月28日の役員会でのレイカディア大学の休校問題について述べた意見の中に、博識な情報と具体的な提言にも自分の実績をふまえた意見を積極的に発言していました。現在大津支部幹事として、支部活動にも積極的に参画し、支部活性化の立役者としての期待を集めています。



平成20年度大津支部新会員歓迎会にて、発表



「森の風音」金子先生との打ち合わせ



子ども達から
シニアまで楽しめる
公園づくり

幼児の親子連れが
タナバタづくり

「森の風音」と親子グループとの協働活動



(取材者：岡崎一郎)

アッシーおじさん

草津・栗東支部 第20期 陶芸学科 三上 善弘さん



- ボランティアをされて何年になりますか。
10年になります。
- どんなボランティアをされておられますか。
身体障害者・パーキンソン・初期認知症・高齢者の方を施設、病院への送迎。
- ボランティアとしてのモットーはなんで
すか。

プライバシー厳守・親切な心・安全運転

- 思い出深いことはありましたか。
①男性独居老人で迎え時間にも鍵が開かず、裏窓から侵入したところ前夜に廊下で転倒し夜10時から翌朝まで横たわり、大腿骨骨折で起き上がれず救急車に同乗して病院へ搬送したこともありました。
- ②MR検査でカプセルの中に入るのを恐れ大泣きされた高齢女性。

- 気遣いされることもありますか。
障害者の方が排便後、洋式便座から立ち上がれず両脇を抱えてお手伝いする時、何気ない態度で臨んでいます。
- 困られたことはありましたか。
障害者の方の病院予約をとり、予約日にお迎えに行くと“今朝は眠いので病院に行かない、三上さん予約書を渡すので代わりに診察を受けてきて”と真剣な顔で依頼されたときは、困るよりも呆気にとられました。

- 楽しい時はどんな場合ですか。
送迎車内で思い出話を生き生きと話され、お互いに大笑いする時です。

- やりがいを感じる時は如何ですか。
送迎車で自宅から出て、自宅まで安全にお届けした時です。

- 送迎車の方々の望みは何ですか。
①身体障害の方
“一人で用をたし、一人でトイレから出られる体”と殆どの方が申されます。便座に座っても立ち上がれず、身内や第三者の手助けが必要となるためです。

②初期認知症の方
初期の方でも会話が通じず、ご本人が何を思っておられるか今以て私にもよく判りません。

- 感動されたことはありますか。
①両足が不自由で車椅子をご使用の女性が“人は一本足で歩いてはる、一本足で走ってはる不思議や”……と、人は歩く時、1本の足は宙にあり、1本の足が地面に着いている。確かにそのとおり、2本の足が地に着いては歩けない。両足の不自由な方が思われるのは尤もこの年になって初めて気付いた次第です。ボランティアをして身体障害者からの観点を痛切に感じました。

②「お母さんに6本足に産んでほしかった、2本が不自由になったら4本がある。また、2本が不自由になったら2本がある。」
「人から昆虫と言われてもええ、歩ける足がほしい」……この悲痛な願いに返す言葉がございませでした。
動く自分の足に申し訳なくも思い、また、動く足に心から感謝をしました。

③世の中、捨てたものではありません、無報酬で気持ち良く活躍しておられる男女がたくさんたくさんおられます。
ボランティアは、目立つことなく、陰の力となり、忍耐強く裏方として長く続ける、これが本当のボランティアと認識するようになりました。
私などととも足下にも寄り付けず、まだまだ足りない状況です。

- ボランティアをいつまでされる予定ですか。
“2種免許を交付されなくなった時、または、体力が衰えた時”は速やかに返上致します。人様にはご迷惑をおかけ致しません。免許を交付され、自分の姓名、生年月日が正確に意思表示出来る間は継続させていただきたく願っております。

(取材者： 宇野 愛子)

「かわらばん」の発行を通じて同窓会会員の連絡と相互理解



草津・栗東支部 第16期 陶芸学科 伊吹 精郎

「かわらばん」は、奥村本部長が草津・栗東支部長の時に創案された同窓会相互の連絡と親睦理解を深めるための機関紙で、その理念を継承して、総務部→広報部が41号から今回の10月1日発行の78号で、担当以来5年余の年月が経ちました。同窓会会員皆様の長年のあたたかいご支援と編集委員の尽力でここまで続けてこられました。

現在も「かわらばん」の発行目的は、レイカディア大学同窓会の草津・栗東支部の会員相互への連絡（予定と実績）と親睦と理解を主眼として編集をしております。

会員への具体的な編集基本姿勢は、かつてない日本の高齢者社会をどう生き抜いて行くか、それぞれの高齢者の生き様を伝え、生き方を考える指針とすべく、下記のような諸項目の取材と原稿を重点にしております。

- ◎会員の幅広い諸活動の相互紹介と理解
- ◎趣味、日常生活の過ごし方とその感動
- ◎同好会、地域社会での支援と付き合い
- ◎夫婦や家族の円満さの秘訣を汲み取る
- ◎健康保持やボケ防止策で長寿への執念

当初は、毎月発行しておりましたが、諸種の事情で、隔月配布となりました。これは、単に配るというだけでなく、戸別訪問により会員の健康状態や家庭の雰囲気を知り、異常がないか確認することも地区担当理事の大きな仕事になっております。

原稿の書きにくい人には、直接インタビューして纏め、提供された原稿に要旨と文字が書いてあれば相互に話し合い確認する作業をしまりました。

数年前には、新聞広告の裏に判読しにくい乱れた文字文章もありましたが、提出しようという強

い意思に感動し、何とか仕上げることができました。

原稿用紙での提出はありがたいほうでした。ワープロ時代を経て、コンピューター時代になり、今は、激変いたしております。

原稿もCDで提出されるようになり、更にインターネット通信による文字も写真も転送するという時代に突入いたしました。

「かわらばん」の編集に携わった5年余の間の急速な時代の変遷は、身をもって技術革新と時代の大きな急速な流れに驚嘆しております。

そのようなことで、「かわらばん」に携わる人は、インターネット通信を駆使できる技術を持つ人が要求されるようになりました。

こうなりますと、年功による委員編成より、新しく同窓会会員になられた方からの抜擢編成が必要となり、同窓会役員の構成の改革にも及ぶことにもなります。

とはいうものの、基本的な素質は、日常の幅広い活動を通じての多くの方との人脈を持ち、いろいろな情報を把握活用できる人が最大の条件で、欲を言えば、多少の文才と編集技量があれば最高の素質を持っていると考えられます。

高齢者になっても自分の特技を活かし、人様に何か役立つことをしようとお考えの方で、このような「かわらばん」編集に挑戦しようと思われる方をお待ちしております。

「かわらばん」の編集を通じて、多くの方との出会いと会話は、ある時は驚き、ある時は感動し、ある時は意気投合し、……脳を著しく活性化してボケ防止にもなり、長寿の一助になるものと信じております。

編集作業は、投稿者と一体となり、投稿者の考えに成りきって作り上げていきます。役者が舞台上で善人を演じ、ある時は同一人が悪人を演ずることがあるように、いろいろな投稿原稿者の人に成りきる演技の面白さも実感いたしました。仕事は、すべて楽しんでやるべきです。

私も後期高齢者ともなり、ぼつぼつ次の優秀な若き後継者に引き継ぐようにと諸段取りを考え実行に移しつつあります。（完）

ビオトープ清掃ボランティア

ボランティア概況

守山・野洲支部

取材のため現地到着7時45分、既に3人が小川の中で作業中、先ず脱帽。作業開始の8時には女性1人を含む8名が勢揃い、世話役の31期生岡村さんの挨拶に続き指導員の顧問（外部の人）佐藤氏より作業内容注意事項の指示があり作業開始。

野洲図書館の庭の一部がビオトープとして長さ約60m、巾1m前後、深さ40cm程度の川が流れ夏には蛍が飛び今は「クロメダカ」など小魚を見る事ができ、その周囲には「ヒメジャガ」など50本余の草木の名札が立ち7年前に造成されたこの区域の清掃ボランティアである。

本日の作業は小川に入り川底に推積した枯葉や草木の根の除去など膝ちかい水の中での根気のある中腰での大変な作業であったが決められた9時過ぎに休憩。そこへ図書館長が来られ丁寧な御礼の言葉があり、受けるブルーの清々しさに感動を覚えた。

引き続き作業、10時過ぎに終了。その後はボランティア団体として承認され無償提供を受けている部屋でその日の反省会やコーヒーを飲み四方山話など有意義な楽しい一時を過ごしている。毎月第二土曜日の午前中であれば立ち寄り見学されてはいかがですか？



小川での除去作業



レイカ野洲の皆さん

レイカ野洲の誕生

今回取材の「レイカ野洲」は、平成20年2月に野洲市の草津校在校生が、同郷の絆を深めお互いに友情を分かち合うため設立されその折り、何かボランティアをと言う事よりこの作業をスタートされたもの。構成は29期、30期、31期生の30人で世話役は31期生2人が担当。現在32期生（米原校含む）勸奨中。



小川での除去作業

取材者より一言

このグループの設立の経緯、ボランティア活動などレイ大の主旨に則った立派な行動であり当支部の誇り。グループの皆様ご苦労さまです。

（取材者：小林仁司 写真：高野隆男）

グラウンドゴルフ愛好会のボランティア

守山・野洲支部 グラウンドゴルフ愛好会

ボランティア活動

作業日 平成21年10月23日 従事者10名
場所 守山市立入野洲川河川敷運動公園
内、立入健康グラウンドゴルフ場
(以下G・Gと云う)

このG・G場の生垣剪定清掃ボランティアを2年前より春秋の年2回実施しており、今回もその流れに沿ったもの。当日はG・G愛好家の定例開催日で12名が午後1時半より32ホールのプレーを行い休憩後、午後4時過ぎにかけ剪定を主とした作業を実施。世話役の27期園芸の崎山氏よりの作業内容の指示等も心得たもの、何の支障もなく前回同様剪定する人(写真①②)、その枝葉を掃く人、一輪車で集める人など手際よく作業を終了(写真③)。中でも園芸出身者は使い慣れた道具で心地よいリズムミカルな音と動きに見とれ鮮かさに感心。



①



②



③

ボランティア開始のいきさつ

野洲川河川敷運動公園一带に国交省より河川法改正に伴う環境保全が求められているという背景もあり、日頃管理者の守山市G・G協会より、レイ大園芸科卒業生のボランティア活動を耳にされ、当支部に剪定依頼の申し出があり応諾。当支部愛好会を始め多くの同窓会員が利用しており無料開放への御礼も兼ね2年前より年2回実施、定例行事として定着継続している。

G・G愛好会について (毎回15名~40名出席)

支部会員相互の親睦、交流、健康維持のため毎月第2第4金曜日の午後32ホールのラウンドを実施。この任意の参加愛好者を中心に支部会員の意志疎通や友情交流の場とした親睦機能を持っている。幸いここでの成果もあって過日の第11回支部交流G・G大会で団体優勝、個人戦でも第1位から第3位までを独占する事が出来大変喜ばしい戦績であった。今後も当支部の活動源として大きな成長を期待するものです。

(取材者：小林仁司 写真：高野隆男)



経験を生かし生活と権利を守る相談業務に活躍するレイ大同窓生を訪ねて

近江八幡支部 第25期 生活科学学科 西村 敏明さん

10月26日（月）10時に西村敏明氏をひまわり館（近江八幡市社会福祉協議会）に訪ねた。西村敏明氏は第25期草津校生活科学学科卒である。卒業後地域で何かお役に立ちたい気持ちで模索していたところ市の社会福祉協議会より相談業務について委嘱したいと申し入れがあったとのこと。西村氏は現職時代一貫して国の民事法務的な仕事に携わっておられ、貴重な経験と知識、旺盛な研究心により今日まで約10年間市民からの各種相談業務について巾広く活躍されている。

具体的には、月2回午後ひまわり館にて遺言や相続についての相談、介護相談員（キャラバンメイト）総合介護市民協議会委員など務め又講演活動など多岐に亘っている。

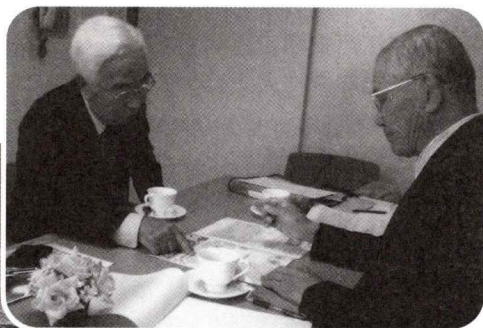
例えば遺言書の書き方など最も多い相談であると話された。遺言という内容からして高齢者が多い事は察しがつくが最近では若い人でも相談に見えるとのことである。

プライバシーを遵守しながら内容を説明し納得のいくようにして帰ってもらはねばならず、相談内容によっては時間もかかり、とりわけ心のふれあいが大切とのこと。講演活動もテーマはやはり「遺言と相続」などが多く伺った。テーマ的には何か難しいとの先入観があるが氏の巧まざるユーモアを介しての講演は各地域において人気を博していると聞く。

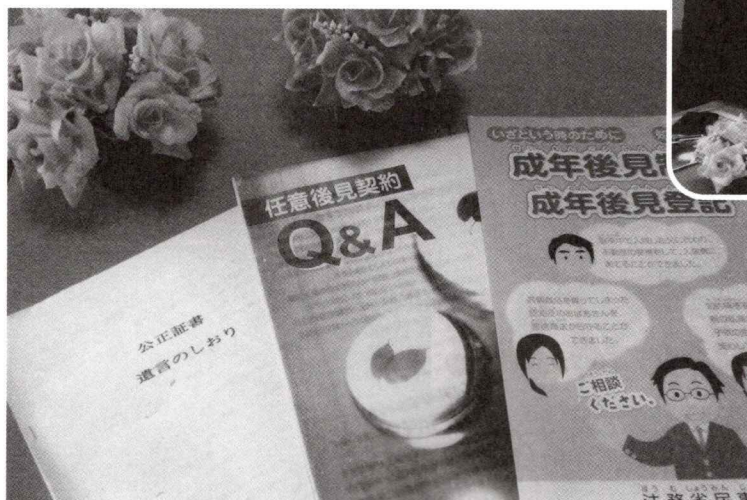
氏が取り組んでいる相談業務は私達にも関わりのある問題であり、レイ大卒業生として最低限度の基礎知識、仕組み等知る必要がある事を痛感した。知る事によっていざという時に判断ができ、ある種の安心感が持てるのではないだろうか。

私達近江八幡支部でも研修の一環として文化講座に取り入れ度、その節にはよろしくと依頼し席を辞した。

西村氏は、俳句、絵など趣味も多彩にて多忙な相談業務の余暇にリフレッシュされている。



▲西村氏より相談業務について説明を受ける



▲相談業務パンフ及びしおり

（取材者：木村 茂治）
（赤尾美智子）

歴史と文化を継承 熊沢蕃山ゆかりの里を研鑽

近江八幡支部 第27期 陶芸学科 鎌田 孝重さん

近江八幡支部グループ活動取材について、広報部の赤尾さんと協議を重ねていたところ赤尾さんの地元、近江八幡市中小森町で歴史上の人物熊沢蕃山についてレイ大同窓生が中心になって、研究を深めているとの事を聞き渡りに船とばかりに取材を申し入れた。

幸いにも赤尾さんの御主人もレイ大同窓生で熊沢蕃山を研鑽されているメンバーと知り益々意を強くし取材日の連絡を待った。

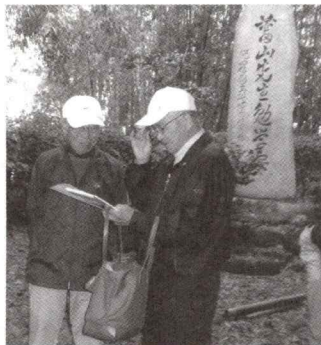
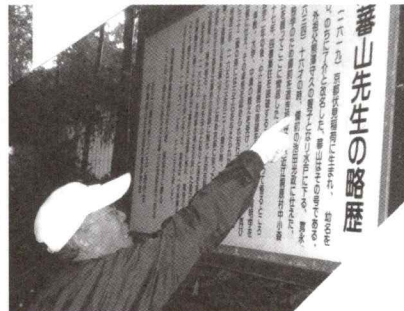
10月11日(日)快晴、空は抜けるように青く、あちこちの生垣から顔を覗かす赤い柿の実で秋の深まりを感じた。「8時に中小森町公民館まで来て下さい。蕃山の居住跡に案内します」と連絡を受けた。正直なところ私は熊沢蕃山とは如何なる歴史上の人物か皆目知識は無く漠然と儒学者かなと考えていた。前夜パソコンにより熊沢蕃山を検索し一夜漬けの知識で車を走らせた。中小森町公民館から徒歩で5分の所に熊沢蕃山の住居屋敷勉強処碑が建立されていた。生垣に囲まれた碑の側に熊沢蕃山の略歴が記された立派な立て看板があった。裏手一面が広く大きな竹藪になっていて、当日は地元公民館、老人会、蕃山研究会の各役員により、竹藪の伐採整理など奉仕作業が行われていた。チェーンソーの音や竹を割る音など響き取材活動もしばしば途切れる状態であった。

熊沢蕃山研究会の代表を務められている、鎌田孝重氏より説明を受けた。限られた時間であったが内容は概ね下記の通りと思われた。

- 1, 研究会のメンバーは現在24名である。
- 2, 3ヶ月乃至4ヶ月に一度会合を持ち講師などと共に研鑽している。
- 3, 蕃山が岡山県で隠遁生活を送った経緯もあり、年一回岡山を訪ね研修を深めている。
- 4, 研究会のメンバーで月1回住居屋敷跡の清掃をしている。
- 5, 蕃山は中江藤樹の門下に入り陽明学を学び江戸初期の陽明学者であった。ここにある碑は大正15年に建立されている。
- 6, 周辺の竹藪を備前やぶと呼んでいる。

鎌田氏の興味深い話は尽きる事を知らなかったが作業の時間も暇乞いを告げ帰り道すがら蕃山と武佐宿(近江八幡市武佐)の伊庭邸と関わりのある伊庭一族の墓地を訊ねた。お寺は興願寺といい広い境内は人気もなく整備された墓地に秋の陽射しを一杯に受けひっそりした佇まいに歴史の重みを感じた。レイ大同窓生が中心になって町づくり、歴史の掘り起こしに情熱を傾注している姿に深い感銘を受け帰路についた。

(取材者：木村 茂治・赤尾美智子)



ボランティア活動で得たもの

甲賀支部 第17期 文芸学科 城 宏衛さん

平成21年度本部定期総会に於いて、功労者表彰を頂戴し、感無量です。その表彰理由に「しがらきの郷・歴史ボランティアガイドの会」の会長云々と記されており、恐縮している次第です。

私は、この活動で多くのものを得ることができた。

その第1は、人々への感謝の念である。まず、レイカディア大学での学びである。卒業後は、地域活性化の担い手になれと、訓導を受けたことである。又、県・市・町の文化関係の方々や先輩諸兄姉の援助で、この会を立ち上げることが出来た。そうして発足後は、ボランティア活動に理解と熱意のある多くの会員に、ご協力とご支援を受けたお陰で、平成14年発足以来8年に亘り、その活動は益々充実し、地域の人々に認められるようになった。「淡海観光ボランティアガイド連絡協議会」にも加入して、滋賀県下30余団体との交流を深めている現今である。これ一筋に多くの方々のお支えで現在があり、感謝の思いで一杯である。

第2は、よく学び、よく遊ぶということである。ボランティアガイドの目的達成には、先ず、地域の歴史・地理を広く深く知る必要がある。信楽は、焼き物の産地である。又、西暦1260年程まえに、聖武天皇が「紫香楽の宮」を造営され、甲賀寺を建て国家安寧を祈願して大仏建立の証勅を発せられ、推進されたこと等、ガイド資料には事欠かないが、深く学ばねばならず一心に努力した。その他社寺や、有形無形の文化財、古の遺跡等に学ぶことは山積している。併し学びと共に楽しみ遊ぶことも忘れてはならず工夫もした。その行動は止まることを知らず、延いては「生きることは学ぶことなり」だとも理解するようになった。

第3は、健康に留意することである。焼き物の窯元を散策して、お客様を案内し、又、紫香楽の宮跡の礎石群や、宮殿の跡等を巡りて往時のロマンを偲んで戴き、楽しんで満足して戴くには、足・腰・頭が健康でなくては勤まらない。必要に迫られて朝には体操で身体を鍛え、生活習慣病にならぬ様、食生活にも留意し、健康保持に努めるようになった。

第4は、全国の人々と交流が持て社会が広がった。初めてのお客様が多いが、案内して別れる時には友達の様になり、再度のお出合いの約束も出来る程、仲良くなる時もあり、他郷の事も教わることが多い。

斯くの如く得るものが多くて毎日が楽しく、学びながら喜んで遊び、健康であり、老いて行くことを忘れていた様な次第である。

今後は、信楽へ一人でも多くの人をお迎えして、学び、遊び、満足して帰って戴けるよう、頑張っていきたいと思っている。それが地域活性化への一助になればと願っている。

最後に種々のご指導ご支援を賜わりし方々に感謝し厚くお礼申し上げます。

※なお、この記事は広報部員が訪問インタビューしたところご本人から提供戴いた記事を掲載致しました。



平成18年11月16日 しがらきの郷歴史ボランティアガイドの会

NEXCO

花の郷日野ダリア園を訪ねて

中部支部 第25期 園芸学科 柚木 幸雄さん

10月19日大西日野分会長の案内で日野ダリア園を訪ねました。10時開園なのに、すでに女性客3名のにぎやかな話し声が聞こえます。

柚木幸雄さんにダリア園についてお話しを伺うと、鎌掛地区の昭和16年生まれと同級生が、還暦を迎えた年お伊勢参りをし、そこで記念に何かをしようという事になったそうです。鎌掛には石楠花と藤の二つの天然記念物があり、花の郷として比較的花の時期の長いダリア園が選ばれました。

地域の恩恵に感謝し、郷づくりの一端を担えればと、近隣地区の人たちにも呼びかけ2002年オープン。現在ダリアは、120種類1万2千本が1万平方メートルの休耕田に初夏から秋にかけて咲き誇っています。

2年目からはいちご園を開園。年間を通じ観光農園として花を楽しんでもらえるようにと、2008年より牡丹・芍薬園も開園。

例年4月下旬頃からは、千株の花が順に咲き誇りバラやクレマチス、またダリア園の藤棚もちょうど見ごろを迎える時期となり、まさしく花の饗宴となるそうです。

直径20種～30種もある大型ダリアから、従来からのバラエティー豊富な色とりどりのダリアが1万本以上も咲いているのは誠に圧巻、見事の一語に尽きます。

2009年からは3mから5mに成長する超大型ダリア「皇帝」別称「木立ダリア」が仲間入りし、11月初旬から霜が降りる前までの時期に開花するそうです。

現在会員は23名、原則として週2回以上当番制で活動されていますが、月の内3分の1すべてボランティアで、年会費3千円をもって運営されているとのこと。

最近では、テレビやラジオ・新聞・インターネットなどで知られるようになり、昨日の日曜日にも150人ほど来園されたそうです。

グリーンツーリングとして「ジャガイモ掘り」「きのこ狩り」「かぶと虫、昆虫探し」「里山散策」の体験など計画されています。

せめて交通費ぐらい出せるようになればと話しておられましたが、広大な観光農園の管理がすべてボランティアとは、郷土を愛し、花を愛する人々の熱意にただただ頭の下がる思いがしました。お土産のすくな南瓜を早速夕食の膳に頂いたが、ほのかな甘み、旨味がありながらさっぱりとした優しい味わいは、作り手の愛情が凝縮しているかのように感じました。

NPO法人日野ダリア園の案内

〒529-1631 蒲生郡日野町鎌掛2198-1

TEL/FAX 0748-52-5651

<http://hinodariaen.com/>

(取材者：奥居喜美子)



気はやさしくて力持ち

中部支部 第27期 文芸学科 本間小一郎さん

本間小一郎さんは平成18年9月に第27期文芸学科を卒業、平成20年4月に中部支部長に選出されました。また、家業においては、株式会社ホンマ牛乳製造販売を営まれ4代目を勤めあげ、現在は長男が5代目を勤めておられます。

他方、地域では安土町保・幼・小・中学校各PTA会長、安土町商工会副会長、会長を18年間歴任その間滋賀県商工会連合会副会長並びに滋賀県火災共済組合連合会副会長歴任1期間安土町教育委員、滋賀県社会教育委員歴任安土町議会議員選出。平成20年6月まで5年間自民党安土支部長を歴任。滋賀県食品衛生協会近江八幡支部副会長と滋賀県牛乳協会副会長を現在に至る。また、滋賀県交通遺族会会長として会務活動を行っておられます。

以上のように多岐にわたりお勤めになっておられます。

普段は物静かな好々爺？ながら、決断力の素晴らしさはいつも尊敬しているところ です。

レイ大文芸学科で学ばれた俳句は今も27期の仲間と続けておられます。

趣味はサイクリングで、毎朝近くのおよし笛ロードを1時間ぐらい走られるそうですが、痛みのあった膝も今は快適。さっそうと風を切り自転車を飛ばしておられる雄姿は目に浮かぶようです。

9月の誕生日に奥さんと一緒に月を眺めながら5年後の二人に思いをさせ、自分のため、伴侶のためにも健康が第一だと、少しロマンチックな気分になり話されたと言いましたが、同世代の私にとっても思いは同じです。

昭和45年から関わっておられる滋賀県交通遺族会の第38回慰霊祭を11月1日近江八幡市文化会館で開催される準備でお忙しいなかいろいろとお話を伺いましたが、最後に座右の銘とされている言葉をお伝えします。

サムエル・ウルマンの詩より

青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方をいう。

青春とは臆病を退ける勇気、安きにつく気持ちをふりすてる冒険心をいう。

ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。

年を重ねただけで人は老いない。

理想を失うとき初めて老いがくる。

(取材者：奥居喜久子)

秦荘老人会盆栽クラブの紹介

湖東支部 秦荘老人会盆栽クラブ

平成9年退職後、前会長より頼まれて、盆栽クラブの世話をされるようになった。最初は毎月第3木曜日の午後、会員が持ちよった盆栽の手入れ、針金掛け、植替えの研修等を主体に研修をされていたが、最近では高齢化が進み、盆栽の持込みも減り、多数の会員が参加しやすいように年間行事を定め下記のような活動をされている。

- 5月 金剛輪寺花祭り盆栽展
- 6月 野洲の津田盆栽店、守山博物館と水生植物園見学、稲沢の植木市
- 10月 町社協と老人クラブ「福祉のつどい」盆栽展
- 10月 町総合センター「ふれあい文化祭」盆栽展
- 11月 日本盆栽大観展、京都みやこメッセ
- 12月 松竹梅の寄せ植え研修
- 1月 盆栽クラブの総会
- 2月 米原、長浜の盆梅展見学

等、出展や研修を会員30余名と共にリーダーとして活動されている。

盆栽や植木の魅力を訊ねて見ると、盆栽や草花が一杯あるだけでその場の雰囲気が変わるし、植物は世話をした分、必ず応えてくれる。又、趣味の合った会員との交流がとても楽しいと笑顔で話された。

『家にとじこもっていないで、出かけませんか、すばらしい楽しいことが待っていますよ。』勧誘のことは

(取材者：辻 甚市)



米原市功労賞を受賞

湖北支部 第26期 園芸学科 吉田 英治さん

問：この度は、米原市功労賞を受賞され、おめでとうございます。その功績は何ですか。

答：受賞は私個人ではなく、「プロジェクトK」として団体受賞です。その功績は、平成13年にこの組織を30人でまちづくり団体として立ち上げました。その後、毎月1回の月例会でみんなが話し合っ、具体的な取り組みについて協議し、その結果、炭焼き花作り、チューリップ園、蕎麦作り等に取り組んできました。その取り組みの過程で、区民の子供から大人まで巻き込んで、上丹生のまちづくりに多大な貢献があったために功労賞を受賞しました。

問：ところであなたは、どんな役割をしていますか。

答：私は現在、プロジェクトKの代表を務めております。立派なスタッフに恵まれて、私はいつも楽しく参加し、活動させてもらっています。

問：あなたは、プロジェクトK以外にもいろんな活動をしておられると聞きおよんでいます。それを教えてください。

答：5年前ですが、緑の少年団を結成し、子供たちに村の里山に思いを寄せてもらうた

めに、里山の木々に名札の取り付け、もみじ苗木の植樹、巣箱の製作と取り付け、炭を使った焼きパンづくり、チューリップの球根の植え付けと収穫等いろんな活動をし、去年は、ツリーハウス製作にも子供達にも係わってもらった。

問：他に何かありますか。

答：現在は、村の高齢者を対象に健康塾を月、2回公会堂でスポーツインストラクターの指導により、いつまでも元気で長生きするために簡単な体操を実施しています。その世話をしています。また、サロンでは、78歳以上の高齢者を対象に3ヶ月に1回10人のスタッフと共に茶話会、食事会、歌、ゲーム等で楽しんでもらっています。

問：多方面でいろいろ活躍され、休む日もないのではないですか。そうしたいろんな活動は大変ですが、嫌とか苦勞と思われたことはありませんか。

答：苦勞と思ったことは一度もありません。いろんなことに活動することは、楽しいもので、しいて言えば私の生きがいの一つでもあります。

(取材者：西岡 孝士)



ボランティア活動

湖北支部 第20期 生活科学学科 戸之洞貞夫さん

平成9年10月、「南郷里在宅ケアを支える会」を110人の会員とともに結成し、この12年間、事務局長、副会長を歴任され、現在、会長に就任しておられます。

さらに平成12年度には、自町内において「福寿想（町内の住民の長寿と、幸せな生活を想いやり！）」とのキャッチフレーズで会を立ち上げ、その世話人代表として15人（男性6名、女性9名）の仲間とともに、町内での「いきいきサロン」を会の単独事業として年2～3回開催しておられます。

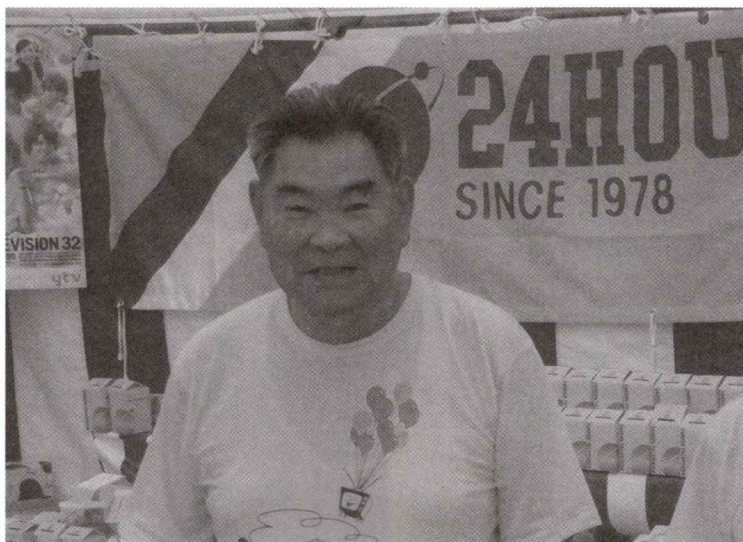
活動の財源は何処からの援助も全くなく、自主財源に頼っていました。

平成14年度からは町内住民の理解が得られ、アルミ缶の回収ボランティアを一人で行っておられ、その収益金を元金にして会の運営費にあてているとのこと。

その実績は、車椅子2台、エアコン2台、座椅子10台ポータブル式アンプ台を町の自治会館の備品として寄贈されました。

町民の間にもようやく「福寿想」の存在が認知され、この会の活動が今後とも、ますます活発になりますように、率先模範されて頑張られることを祈念して帰路につきました。

（取材者：吉田 英治）



8月30日 24時間テレビ募金活動出演の戸之洞さん

自助具製作ボランティア『湖北虹工房』

湖北支部 第20期 生活科学学科 武藤 実さん

取材で見聞した資料によると、リハビリに勤しむ人や手足の不自由な人が工夫された自助具を使う事によって快適に暮らす事が出来る。箸を持ってない人が普通の人と同様に楽しく食事ができ、車椅子利用者が特殊な布を使って一人で入浴できるなど、自助具は色々な所で障害者を助けています。レイ大生活科学学科第20期生の武藤実さんは、その自助具製作ボランティア湖北虹工房の一員です。

自助具は福祉用具ですが、市販品は量産できない為か、特許料などの関係からか高価であり、また体格などの個人差がある為に使いにくい物が多いようです。

そうした利用者の要望を理学療法士などの指導を受けて、ボランティアの私たちが検討を繰り返しながら製作する訳で、利用者にとっては自分専用の道具なので快適に使うことが出来るのです。

自助具製作グループは県内各地の地域振興局が行っている福祉事業の協力団体です。

リーダーで20期生の山本春男さんは、レイ大草津校での「自助具フォーラム2004」全国展示・発表会に参加され、湖北地域リハビリテーション広域支援センターの「虹工房」として「坐薬挿入器製作の思い」について発表されました。

リュウマチによって身体機能を侵された中年女性が全身の痛みに耐える毎日から抜け出す術は、朝夕の坐薬挿入となりましたが、朝はヘルパーさんの手を借りられても、時間の定まらない就寝前では無理であり、その問題の克服に「虹工房」のボランティアが挑戦したのです。

自助具製作の活動は世間では余り認知されていませんが、社会福祉協議会のケアマネージャーに認知された喜び、利用者の喜ぶ姿が目に見えて嬉しくなった事が、製作する者の心の励みになります。

口も出せ、そしてアイデアも自分の手も出せるボランティア、作る側と使う側の人々が共に喜びを分かち合い、感動を与え、障害を持つ人になくてはならぬものとなれば、自立につながり社会参加へとリンクする事は間違いないと思います。

虹工房の沿革

- 平成9年、長浜保健所主催の第1回自助具製作ボランティア養成講座に参加した受講生数人でボランティアグループを立ち上げる。

- 平成10年4月、自助具製作工房を開設し、会合の事務所を保健所2階会議室とする。

活動は毎月2回、自助具の改造受付を開始して啓発ビラの作成、積極的な展示説明会を行う事を決定。

- 平成11年6月、長浜市ボランティア連絡協議会に加入。啓発広報紙「レインボー」発行。

各地の福祉団体の会合や研修会を利用して啓発活動や説明会を行って来た。

- 平成12年12月、国際ソロプチミスト長浜から支援金の寄贈を受ける。

- 平成14年10月、国際ソロプチミスト日本財団より「社会ボランティア賞」を受賞。

- 平成14年11月、長浜市社会福祉協議会より「社会福祉功績団体賞」を受賞。

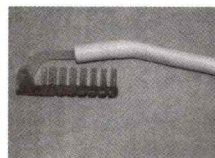
- 平成15年3月、NHK「おはよう関西」が取材放映。

- 平成16年4月、県事業の地方移管の余波で、所管が保健所から外されて、長浜赤十字病院内、湖北地域リハビリテーション広域支援センター所管となる。

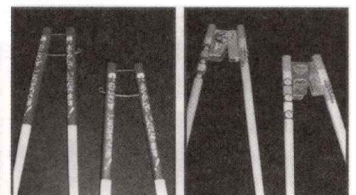
(取材者：西岡 孝士)



長浜赤十字病院内の自助具展示コーナー



長柄ブラシ



改良箸

ボランティア活動を楽しんでいます 精神保健ボランティアグループ ○(わ)

高島支部 第20期 スポレク学科 増田 道夫さん
高島支部 第20期 生活科学学科 山形ひさ江さん
高島支部 第23期 文芸学科 松本 直子さん

主な活動拠点 高島市今津東コミセン



心の病を持つ人達へ憩いの場を提供、障害を持つ人達との交流を図り、のんびり自分のペースで過ごせるサロンで、気持ちが癒される時間を一緒に楽しみ、当事者とボランティアの垣根なくみんな仲間とした当たり前の付き合いをしている。

ボランティア会員25名 男性3名女性22名
場所 今津東コミセン 2階大広間
日時 毎週 木曜日 午前10時～午後2時

* 精神障害に対する理解

心のボランティア講座、勉強会、交流会、



* レクリエーション活動（リハビリ）



レクリエーションによる人と人との交流から楽しみを得るため、みんな仲間と一緒に、歌って踊って、ゲームして、精神面の疲れを癒し心身の健康づくりを、目指している。

* 主な活動（通常サロン外）

音楽療法（カラオケ）年4回 野外レク デイキャンプ 1回
グランドゴルフ 3回

（精神に障害があってもなくても、みんな仲間。年間計画もみんなで立てています。）

（取材者：池田 邦治）

みんなの広場

全員の消息、活動などを100字程度にまとめて報告する「みんなの広場」を新設しました。

精神障害保健ボランティア

高島支部 生活科学学科 第20期 山形ひさ江

精保ボランティアに参加して早や十余年、当事者、家族ボランティアの垣根がなくなる様な活動を目標に、サロンでたとえ一刻でも心の病という現実が癒され苦しんでいるのは「私一人ではないんだ」と感じる事が出来れば生きがいや喜びにつながると感じております。

仲秋の名月

中部支部 文芸学科 第22期 福原 直子

十月三日、仲秋の名月。湖西マキノ浜で月の出を待つ。西に夕茜の残る六時すぎ、山の端を離れた大きな白い月が昇る。だんだんと光を増す月の輝きが湖にきらめく素晴らしさに湖国に住む幸せを感じた一夜でした。

出逢い

守山支部 スポレク学科 第22期 黒田 玲子

レイ大に入学以来、丁度10年目になります。終生の友と出合い交流を深めて来ました。「第22期・スポレク・18名」四季折々に集まりはげまし合って来ましたが、華園孝昭氏（享年80歳）と、とうとう永久の別れとなってしまいました。共に健康のため自彊術をしたりボランティアで県下を走り廻っていられた様子が思い出されます。今までは老齡期を楽しんですごして来ましたが、友の旅立ちに際し、自分の残り少ない余生を有意義に……と思う様になりました。

クラス会

中部支部 園芸学科 第23期 矢野 高安

ふみの会（米原校第23期園芸学科）は、春秋にクラス会を開いている。10月5日参加13名は、グラウンドゴルフを近江八幡市野村G・G場の難コースに梃摺ったあと、夕方から同市内国民休暇村で懇親会をもちました。ゴルフの成績発表を皮切りに、その夜は晩くまで賑やかに交歓の宴は続き、全員が同窓の誼に酔浸って、翌朝散会しました。

『三方よし』

近江八幡支部 生活科学学科 第24期 船橋 縫子

今年で六年目ふれあいサロンの活動に取り組んでいます。高齢者が住みなれた地域で元気に暮らし自由に交流してつながりを深め安心感のある地域作りが目的です。貴女よし、私よし、地域よしの三方よしで頑張っています。

南京たますだれ

近江八幡支部 生活科学学科 第25期 高田百合子

レイカディア在学中に、学科長が南京玉すだれを教えて下さり、私は以前から音楽愛好者とボランティアで介護施設等を慰労訪問しています。そこに導入し、芸に巾を増し皆様に喜んでもらい、共に楽しく、愉快にこれからも続けていけるよう願っています。

同窓会について

中部支部 園芸学科 第26期 松川宇一郎

最近会員の加入が減少気味になってきているが、色々と考察でき、特に、活動のマンネリと各種の同窓会があり、一人で数個の会員になっており、活動内容があまり変わらないので関心が薄いのではないかと、会員確保は活動内容の工夫が必要と思う。

ネイチャーゲーム

中部支部 陶芸学科 第26期 野中 紘

どの様な遊びなのかと恐る恐る参加した。はじめは、這いつくばって虫眼鏡で地面の様子を観察する。小さな葉っぱが芽を出し、蟻や小さな昆虫が落ち葉の下で生活している。手鏡を胸の前に抱え真上の木々や空を映すと普段は余り見えない景色が見える。自然の営みの一端が目の前にあり、愛おしさを感じた。

私なりに

草津・栗東支部 スポレク学科 第26期 杉本 弘子

音楽ボランティアを始めて10年目、身なり振る舞いに気を配り出向くこの緊張感が、元気の源となっているのかな? 「歌は心の叫び」先人が残してくれた名曲、良い歌を次世代に継承していく責任を感じています。

挨拶は、自分から

中部支部 園芸学科(米原校) 第27期 池戸 利夫

私は、「今日もよろしく」の気持ちで、家族に挨拶することから、一日が始まります。又、地域では「ご苦労様です」の思いを込めて、挨拶をしています。自分から挨拶することで、とても気持ちよく仲間に入れて貰っています。

一人前の職人?

中部支部 文芸学科 第29期 西田 一雄

春と秋の庭木の葉刈りは、植木屋さんに任せていたが、時間があるのとお金の節約の為自分でやりだした。十尺の園芸用脚立やハサミ等を揃えると一人前の職人のような気になった。少々トラ刈りでも、植物はなにも言わないが、周りの人のほうがうるさい。毛虫と刈ったあとのごみの処理に悩まされている。

更生保護活動について

湖北支部 スポレク学科 第26期 藤田 恵子

更生保護とは、心ならずも過ちを犯した人の立ち直りを支援し、犯罪の予防に努めることです。更生保護女性会もその趣旨の基に、ミニ集会、子育て支援などを通して、社会を明るくする運動を展開して、非行防止に繋いでいます。

私が今 一番力を入れているもの

湖北支部 スポレク学科 第26期 藤山富美栄

それは「おしゃべりボランティア」です。発足して1年半がたち会員は19名。月1回例会があり次の月の訪問先を決め2人1組で依頼された自宅を訪問します。帰り際に「又来てな」といわれる言葉に喜びを感じます。

心に情調と感性を! 「音楽活動」

湖北支部 生活科学学科 第20期 戸之洞貞夫

平成11年から「ながはまシニアアンサンブル(銀の燿)」にテナーサキソホン奏者として参加し、月2回の練習日のほか自治会や施設、敬老会などで演奏しています。

同期生

甲賀支部 スポレク学科 第24期 井代 一枝

私達同期生は、カナダ、中国、ニュージーランドと楽しい旅を共有して、喜びで一杯です。各地域でも、手と手をつなぎ、元気いっぱいダンスの世話をさせて頂ける事は、レイ大に入学出来たお陰と感謝に耐えません。



ニュージーランドにて

「溝井好夫さんの横顔」

中部支部 陶芸学科卒 第18期

溝井さんは、会社勤めを定年後、何か身につけたいとレイ大陶芸学科に学ばれ卒業と共に庭園監理士の免許を取得され、又マジックの勉強をされて、地域の老人会やイベントの集まりの時に出演依頼があれば気軽に出演して、大変よろこばれている人です。



平成21年度 本 部 役 員



《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	奥 村 常治郎		草津・栗東支部
副 会 長	戸之洞 貞 夫		総務部長／湖北支部
	木 村 茂 治		近江八幡支部
事務局長	池 田 邦 治		
会 計	小 林 仁 司		
常任理事	岡 崎 一 郎		広報部長／大津支部長
	三 上 善 弘		研修部長／草津・栗東支部長
	小 林 仁 司		総務部／守山野洲支部長
	岡 田 定 一		研修部／近江八幡支部長
	小 林 和 雄		研修部／甲賀支部長
	本 間 小一郎		総務部／中部支部長
	金 子 良 一		研修部／湖東支部長
	西 岡 孝 士		研修部／湖北支部長
	池 田 邦 治		研修部／高島支部長
	理 事	斎 藤 治 子	
平 井 和 子			研修部／大津支部
宇 野 愛 子			広報部／草津・栗東副支部長
国 松 功			総務部／草津・栗東副支部長
鳥 居 義 樹			研修部／守山野洲副支部長
黒 田 玲 子			広報部／守山野洲副支部長
木 田 勝 彦			総務部／甲賀副支部長
井 代 一 枝			広報部／甲賀副支部長
高 橋 一 男			研修部／近江八幡副支部長
赤 尾 美智子			広報部／近江八幡副支部長
奥 居 喜久子			広報部／中部副支部長
矢 野 高 安			研修部／中部副支部長
小 玉 徳 承			広報部／湖東副支部長
木 村 傅 平			総務部／湖東副支部長
田 中 孟			総務部／湖北副支部長
吉 田 英 治			広報部／湖北副支部長
松 本 敬 三			広報部／高島副支部長
大 塚 雅 子			総務部／高島副支部長
監 事	清 水 敏 男		湖北支部
	桐 畑 実		湖北支部

＝お知らせ＝

滋賀県レイカディア大学の休校について要請

滋賀県は平成22年度の予算編成にあたり、財源不足のため56億数千万円の経費削減を行う必要が生じ、その一環としてレイカディア大学の運営について次のとおり発表されました。

- (1)レイカディア大学の学生募集を平成22年10月分から停止し、平成23年10月から当面休校する。
- (2)現在在校生（第31期生・第32期生）は卒業させる。

これに対し、同窓会は次のとおり対応する。

1. 同窓会活動は今までとおり存続し、活動する。
2. 11月26日知事に面談のうえ下記のとおりレイカディア大学の休校撤回を強く要望しました。

滋賀県知事
嘉田 由紀子 様

平成21年11月26日

滋賀県レイカディア大学同窓会
会長 奥村常治郎



滋賀県レイカディア大学の休校の撤回について（お願い）

厳しい県財政のなかでの舵取り、さぞご心労のこととお察しいたします。さて、報ぜられるところによりますと、巨額の財源不足が見込まれる中での苦渋の収支改善策が策定され、その一つにレイカディア大学の休校が掲げられております。

しかしながら、レイカディア大学の建学の精神に則り各地域で地道に活躍している卒業生の別紙現状および先輩に続こうと入学を目指している後輩の思いをご賢察いただき、是非、レイカディア大学の休校を撤回していただきたく強く要望いたします。

以上

別添書類

地域で活躍しているレイカディア大学
卒業生の現状

1部

以上



◀嘉田知事にレイカディア大学の休校撤回の要望書を手渡す奥村会長

地域で活躍しているレイカディア大学卒業生の現状

「自分をほめてやりたい」人の学園

= 高齢者のいきがいくりの場

レイカディア大学は、現役を全うし「さあ、これからは好きなことを、気ままにやろう」とする人が多いなかで、あえて2年間、机に向かい勉学に勤しもうとする熱い思いの人たちで満ちています。しかも趣味の教室通いではなく、レイカディア大学の趣旨に沿って、持てる力を更に磨き、社会参加への強い意欲と地域づくりの担い手としてのノウハウを習得しようとする熱心なシニアが学んでいるすばらしい学園です。

NHKでは、滋賀県が取り組んでいる健康長寿社会へ向けての高齢者パワーの発掘およびいきがいくりと、その成果を全国放映しました。その内容からおそらく各方面で高い評価と反響を呼んだものと思います。

しかしながら、ここに来てこの素晴らしい地域づくりが中断されようとしていることは、まことに残念で、かつ、“もったいない” 限りです。

創設30周年のこの年に

= シルバー青年部の養成こそ、時の要請

レイカディア大学は昭和53年に創設以来4,400名もの卒業生を送り出し、卒業後は地道な地域活動が続けて、各方面で高い評価を得ている多くの人を育ててきました。

シニアの生きよりのぞみを与え、それが時の要請に応えた形で有効に機能したすばらしい学び舎が、厳しい県財政のためとは言え30周年に当たるこの年に見直し策の対象になり、休校とされることはまことに遺憾です。

少子化、核家族化、老老世帯というなかで進む高齢化社会では、昔のように家族で支え合っていくことが立ち行かなくなるのです。

かかる将来を見据えたならば、今こそ、元気なお年寄り、つまりシルバー青年部と言われるレイカディア大学生を育てて各地域での支え合いの担い手を養成することこそ最も有効な施策です。

学科名の改称に応じて

= 医療費の節減にも大いに寄与

レイカディア大学では、長年親しまれてきた「スポーツ・レクリエーション学科」を今年の10月から「健康・レクリエーション学科」と改称し、新入生を受入れました。

「スポーツ」と言うとき激しく体を使うイメージがあり、高齢者を対象にした地域活動の場ではなじみにくいとの思いで改称されたことは賢明な施策でした。しかしその成果を見ないうちに休校に至ることはまことに遺憾です。

健康で長寿なシニアづくりは、医療費の節減にも大いに寄与し一過的な経費削減で得る額を大きく凌駕することは明白です。また、一旦中断したものを再開するには莫大な経費が要することは先刻ご承知のとおりです。

「いよっ 日本一」

= 高齢者の地域活動への参加

前述のとおり、NHKでは平成19年5月7日に「いよっ、日本一」と題した高齢者・65歳以上のボランティア参加率が全国一の県として滋賀県が取り上げられました。

ボランティア参加率は全国平均が27%に対し、滋賀県は42.2%と、まさに“日本一”の県として全国放映されました。

そこには多くの卒業生がかいがいしく活躍している様子が次々と映り、卒業生として言い知れぬ誇らしさとうれしさを感じたものでした。

堀尾正明アナは「滋賀県がこれ程多くの高齢者がボランティア活動に参加するのは、レイカディア大学というユニークな大学の存在が大きい」と、高く評価していました。それは同時に、県の高齢化対策の力強さが広く全国に報道され、これまた県民として誇れる事実でした。

かかる望ましい状況を醸成してきたすばらしい学園の存続を切に望むものです。

同窓会の将来

= 根なし草、立ち枯れ

レイカディア大学同窓会は単に学び舎を同じくしたものの親睦団体だけではなく、入会後の会員の地域活動の実態把握や活躍のための情報の発信を随時行っています。現に、県の元気長寿福祉課が主催した「介護予防県民いきいきフォーラム」のパネラーは、同窓会の機関誌に掲載された地域活動のガンバリ屋さんや「地域活動事例発表会」の場で選考された会員です。

同窓会は、構成員たる会員が毎年継続的に入会してこそ機能するものですが、今次対策によれば2年後は確実に入会者は途絶え、既存会員のみになり陳腐化は火を見るよりも明らかで、立ち枯れ状態からそう遠くない将来には衰退、解散の運命を辿ることになります。そして、レイカディア大学という素晴らしい学園で育ててきたフレンドリーな仲間との楽しい交流、健康づくりや地域活動の啓発、研修の場として有効に機能していたふれあいの場が終焉することになります。

以上

滋賀県レイカディア大学同窓会
『會報』 26号

発行：平成 21 年 12 月 15 日
編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
〒525-0072
草津市笠山七丁目 8-138
(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社
〒520-2152
大津市月輪一丁目 9-33
TEL 077-544-0190(代)
FAX 077-543-1460

